

平成30年3月13日

森町教育委員会

委員長 井口 始 様

森町学校のあり方検討会

会長 武井敦史



森町学校のあり方について（答申）

平成29年6月23日付け森教学第454号をもって諮問のありました「将来を展望した森町の小中学校及び幼稚園のあり方について」本検討会で慎重に検討した結果下記の意見を付して答申します。

記

- 1 森町の少子化に対応した学校配置の適正化を求める。
- 2 学校の配置替えによる影響の大きい地域の活性化を講じることを求める。
- 3 平成30年度を目途に結論を出すことが望ましいと考える。



# 森町学校のあり方について

## 報告書（答申）

平成30年3月

森町学校のあり方検討会

# 目 次

1. はじめに	1
(1) 「森町学校のあり方検討会」設置の趣旨	1
(2) 会の活動と審議の流れ	1
2. 森町における学校配置の状況と今後の課題	2
(1) 過去の各学校園の児童生徒数の推移	2
(2) 若年層人口の予測	3
(3) 『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き』について	4
(4) 森町の公共施設の状況について	5
3. アンケートの実施とその結果について	5
(1) アンケート実施の概要	5
(2) アンケートの結果	5
4. 今後の森町幼稚園及び小・中学校のあり方に関する検討課題	7
(1) 課題の緊急性	7
(2) 検討の視点	7
関係書類	9

## 森町学校のあり方検討会報告書（答申）

### 1 はじめに

#### (1) 「森町学校のあり方検討会」設置の趣旨

近年、教育を取り巻く環境は著しく変化している。特に少子化に伴う学校規模の縮小については、全国の自治体が課題を抱え対応に苦慮している。森町においても例外ではなく、町内の幼稚園及び小・中学校の園児及び児童生徒数の減少が続いており、何らかの対策を取らなかった場合、長期的に児童生徒の教育活動や施設設備の維持が困難になることが懸念される。

文部科学省は、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することを念頭に、平成27年1月「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定して、地域の実情に応じた最適な学校教育のあり方を主体的に検討するよう、各自治体に通知している。

これを受け、森町教育委員会では、小規模校においてPTAによる学校のあり方についての意見交換会を、平成27年度から2年にわたり実施してきた。また、地域住民や保護者から、町長と語る会や電話等で不安の声が届くようになるとともに、議会においても、一般質問に小規模校の統廃合について取り上げられるようになった。

このような状況下で、森町教育委員会は、町内のすべての幼稚園及び小・中学校に通う園児及び児童生徒に対して、より良い教育環境を等しく保証するという責務を果たすべく、将来を展望した幼稚園を含めた学校のあり方について調査・検討を行うための諮問機関として、「森町学校のあり方検討会」を設置した。

#### (2) 会の活動と審議の流れ

検討会は、年度末までに答申書を完成させることを目標にスタートし、本年度6回開催した。

第1回目では、検討会設置の経緯や趣旨を説明するとともに、文部科学省が発行した手引の内容を確認し、町内幼稚園及び小・中学校の現状や今後の園児及び児童生徒数の推移、施設の状況について事務局から説明を受けた。意見集約については、忌憚のない正直な声を集めるために、町内の幼稚園及び小・中学校に通う園児及び児童生徒の保護者全員を対象としたアンケート調査を実施することで、意見が一致した。

第2回の検討会では、検討会委員が、学校を訪問し子供たちの活動の様子を視察した。単学級、複数学級及び複式学級の小・中学校4校を訪問し、各校長から説明を受けた後、授業の様子を参観した。それぞれの学校のメリット、デメリットを確認するとともに、視察後、意見交換を行った。また、アンケート調査実施にあたり、その調査項目についても検討した。

第3回の検討会では、「学校規模の視点」、「通学方法の視点」、「地域コミュニティの視点」から具体的に検討を行うとともに、統合ありきの検討にならないために「特色ある学校の形態」についても共通認識を図った。

また、特に小規模校がある北部地域の方から、「意見を発言する機会がほしい」という声が寄せられていたので、その要望に応えるべく、天方地区及び三倉地区において地域懇談会を開催し、地域住民の思いや意見を聴く機会を設けた。

第4回の検討会では、アンケート結果の集約と地域懇談会における意見を基に、学校のあり方について意見交換を行った。アンケートの結果は、膨大な資料となったので、委員には事前に資料を配付し、目通しをした上で会議を開催した。

第5回の検討会は、これまでの検討会、地域懇談会及びアンケート結果の分析を踏まえ、保護者や地域住民の思い、地域と学校の関わりや地域コミュニティの形成などの見地から調査・検討した内容をまとめ、教育委員会への答申書の素案を作成し、さらに意見交換を行った。

最終回となる第6回検討会においては、答申書をまとめ、教育委員長への提出に至った。

## 2 森町における学校配置の状況と今後の課題

### (1) 過去の各園・学校の園児及び児童生徒数の推移

園校名	年											
	1990 H2	1995 H7	2000 H12	2005 H17	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29
飯田小	419	417	269	227	240	236	236	231	221	218	213	204
宮園小	531	553	447	284	293	298	305	314	321	334	319	312
森小	692	648	506	404	408	413	393	380	367	361	353	356
天方小	85	102	97	103	82	73	62	55	47	46	47	41
三倉小	88	102	65	32	20	18	14	14	15	18	18	17
合計	1815	1822	1384	1050	1043	1038	1010	994	971	977	950	930
旭が丘中	420	484	476	340	241	248	246	264	268	252	252	254
森中	325	330	322	223	169	158	171	189	203	194	184	170
泉陽中	124	89	105	77	62	61	69	59	54	42	37	34
合計	869	903	903	640	472	467	486	512	525	488	473	458
飯田幼	123	82	86	93	82	78	82	69	62	56	59	65
園田幼	99	93	78	68	82	79	74	65	62	56	53	55
一宮幼	55	34	35	42	37	39	40	37	28	29	29	31
森幼	146	110	114	126	101	112	110	100	93	85	89	77
天方幼	23	30	28	38	20	15	16	18	19	17	21	23
三倉幼	36	21	13	10	7	6	7	8	6	1	休園	休園
合計	482	370	354	377	329	329	329	297	270	244	251	251

小学校においては、平成25年度に千人を下回って以降、平成27年度を除き、毎年20人程度ずつ減少している。三倉小学校では、平成16年度に2・3年生で複式学級が始まり、現在は完全複式学級となっている。また、天方小学校では、平成26年度に2・3年生で複式学級が始まっている。

中学校においては、平成 25 年度及び 26 年度に微増が見られたものの、平成になって最も多かった平成 12 年度の生徒数と比較すると、ほぼ半分まで減少している。

幼稚園についても、少子化に加え、母親の就労率の向上により保育園入園希望者が増えたため、園児数が減少している。しかし、平成 28 年度から幼稚園においても「預かり保育」を開始したことにより、横ばいの状況となっている。三倉幼稚園においては、平成 27 年度には在園児が 1 人となり、平成 28 年度から休園となっている。

## (2) 若年層人口の予測

各学校区在住の園児及び児童生徒数は下記のように予測される。

園校名	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
飯田小		190	185	188	181	168	166						
宮園小		289	286	275	270	260	249						
森 小		347	345	328	332	336	311						
天方小		38	40	43	36	34	31						
三倉小		17	19	19	15	14	15						
合計		881	875	853	834	812	772						
旭が丘中		280	281	281	263	244	235	217	228	229	236	202	188
森 中		172	174	185	180	173	171	167	172	157	165	164	154
泉陽中		32	30	27	32	35	31	23	24	31	28	24	15
合計		484	485	493	475	452	437	407	424	417	429	390	357
飯田幼		68	60	57									
園田幼		58	50	45									
一宮幼		37	37	35									
森 幼		79	73	67									
天方幼		22	16	11									
三倉幼		-	-	-									
合計		264 (429)	236 (390)	215 (357)	→ ( )内の数字は、幼稚園における該当年の対象者数								

※幼稚園：平成 30 年度以降の幼稚園入園者数は、保育園入園見込み者数を減員した数字（当該幼稚園への就園率から算出）

※中学校：町外の中学校への入学予定者を含んだ数字

上記予測は、平成 29 年 4 月 1 日現在、各地区に居住している乳幼児数から、将来の園児及び児童生徒数を推計したものである。

幼稚園及び小学校については、少子化により減少していくことが予測される。なお、この値は、地域への転出入等の社会増減を想定していないので、地域によっては更に深刻な園児及び児童生徒数の減少が生じることも考えられる。

天方小学校については、平成 30 年度には複式学級が 2 学級に増えることが見込まれている。

中学校については、町外の私立及び公立の中学校へ入学する場合もあるため、必ずし

も表に記載の生徒数が確保できるとは言えず、更なる生徒数の減少が予想される。

また、人数が少なくなるほどに、部活動の選択肢が少なく、活動に制約が生じることが予想される。

旭が丘中学校については、2028年度から順次1学年が3学級から2学級になることが予想されるが、森中学校については、現在把握できる年度までは、現状の学級数を維持するものと思われる。泉陽中学校については、2020年度に全校生徒が30人を下回ることが見込まれる。

### (3) 『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引』について

文部科学省が平成27年に策定した『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引』（以下『手引き』という）によると、義務教育段階の学校では、単に教科等の知識や技能の習得だけでなく、集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要であり、そうした教育を十全に行うために、一定の規模の児童生徒集団の確保や、経験年数、専門性等のバランスのとれた教職員集団の配置が望ましく、一定の学校規模を確保することが重要としている。極小規模校を有する本町としては、主体的な検討が強く求められている。

また、同時に、小・中学校は、児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有する場合が多く、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っており、まちづくりのあり方と密接不可分であるとしている。

このような学校が持つ多様な機能にも留意し、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれるとしている。

適正規模・適正配置については、法令上、学校規模の標準を小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされているが、「特別の事情があるときはこの限りでない」という弾力的なものとなっており、学級数に加え、1学級当たりの児童生徒数や学校全体の児童生徒数、将来推計などの観点も合わせて総合的な検討を行うことが求められている。

その際、小学校では5学級以下、中学校では2学級以下の複式学級が存在する規模である場合は、「教育上の課題がきわめて大きい」、小学校で6学級、中学校で3学級のクラス替えができない規模の場合は、「教育上の課題が大きい」と認識されており、いずれの場合も「適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある」と指摘されている。

また、通学距離が、小学校でおおむね4km以内、中学校ではおおむね6km以内とする従来からの目安に加え、通学バス等の適切な交通手段が確保でき、通学距離や時間の増



加に伴うデメリットが解消される場合には、「おおむね1時間以内」を一つの目安として新たに設定している。こうした前提の上で、地域の実情や児童生徒の実態に応じて判断することが適当であると記載されている。

#### (4) 森町の公共施設の状況について

森町においては、今後、公共施設の老朽化に伴う維持費用の増加が見込まれることを踏まえ、施設の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等の施策を計画的に行うこととして「森町公共施設等総合管理計画」を策定している。人口減少により町税が伸び悩み、財政状況が更に厳しくなることが予想されることから、公共施設等の更新等に係る財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが望まれる。

この計画を見ると、町が所有する30年以上経過している建物の内、幼稚園及び小・中学校の建物が全体の7割を超えることから、この改修等の費用が今後の町全体予算を圧迫していくことが予想される。この課題を念頭に施設整備面からも長期的な展望をもって、学校のあり方を検討する必要がある。

### 3 アンケートの実施とその結果について

#### (1) アンケート実施の概要

##### ① アンケートの構成

アンケートは、13の問いから成り、具体的な意見を確認するため、選択のみならず記述項目も加えた。

園児及び児童生徒が通っている幼稚園及び小・中学校を記入していただくことで、地元の学校についての意見と森町全体の学校についての考えが把握できるようにした。

##### ② 回答者数とその属性

アンケートは、町内の幼稚園及び小・中学校に通う園児及び児童生徒の保護者全員を対象に実施した。ただし、兄弟姉妹が同じ園・学校に通う場合は、上級学年の子についてのみアンケート用紙を配布することとした。

また、学校種が違う場合は、アンケート用紙は配布したが、回答は上の学校に通う児童生徒が所属する学校のみ提出をお願いした。

その結果、アンケート配布件数は、1,333件で、そのうち1,051件を回収することができた（回収率78.8%）。

##### ③ 集計

アンケートは、教育観や学校のあり方など、地域差が大きいと思われる質問項目については、森町全体で単純集計を行った。また、学校再編や理想的学級数など、現在通学している学校規模によって回答が異なると想定される質問は、中学校区単

位で集計を行った。

## (2) アンケートの結果

以下、アンケート結果より、特に本検討会の関連が強い点について列挙する。

### ① 学校という場所の意義について

第一に基礎的な学習の場としての役割を約8割の回答者が選択している。また、第二に人間関係や社会性などを学ぶところであるとの役割を5割を超える回答者が選択している。第三に集団生活や友人関係を選択した回答者も一定割合見られる。一方、個性を伸ばすところとの認識を示した回答者は多くはない。

### ② 児童生徒数の減少に関する危機意識

現状認識としては、旭が丘、森の各中学校区では、大きな問題は生じていないとする回答が過半数を占めるが、泉陽中学校区では83%が危機感を感じている。

将来については、いずれの学区においても危機感を抱いていることがうかがわれ、児童生徒数減少の影響に危機感を抱いているとの回答が、旭が丘、森の各中学校区では75%程度、泉陽中学校区では85%を占める。

### ③ 理想的な児童生徒数の認識

小学校について、全体としてみると21~35人程度(1学級)及び36~70人程度(2学級)という回答がそれぞれ35%前後、3学級以上とする回答が20%程度という分布となっている。ただし、泉陽中学校区に限ってみると、20人未満(1学級)とする回答も36.2%あり、小規模のメリットを生かした教育の良さも認識されている様子がうかがわれる。

中学校については、中学校区によって回答に差が見られる。全体としてみると3学級とする回答が最も多く、全体の約4割がそう答えている。しかし、中学校の規模が小さくなるほど小規模を理想とする傾向があり、この点についても小規模のメリットを生かした教育の良さも認識されている様子がうかがわれる。

小規模化が進行した場合の対応としては、「個々に応じたきめ細かな指導の充実」は前提としながら、交流授業等の充実により、多様性のある環境の拡充が希望されている。この他、地域性を取り入れた教育活動や学校選択制などの充実も、一定数の要望があるものと見ることができる。

### ④ 対応の必要性

現在通っている学校に関する今後の再編の必要性についての認識は、学校区によって顕著な差がある。小学校に関しては、旭が丘中及び森中学校区においては、約7割の回答者が「現行のままで良い」と回答しているのに対して、泉陽中学校区では、62%の回答者が「再編が必要」と回答している。また、中学校に関しては、泉陽中学校区で68%、森中学校区でも39%がその必要性を認識しているのに対して、旭が丘中学校区においては20%に留まっている。

森町全体について聞いた場合には、小学校、中学校とも、「再編の検討が必要である」とする回答が、「現行のままで良い」とする回答の2倍近くに上っており、その傾向は、より小規模な学区ほど強い。将来について、森町全体が強い危機意識を持っている様子うかがわれる。

幼稚園についても「再編の必要がある」とする回答が、「現行のままで良い」とする回答の2倍以上に上る。その理由や意見として、「幼稚園は働く親にとって負担が大きい」「幼保園にするのがいい」というものが大変多く見られた。

#### ⑤ 学校の価値認識について

学校のあり方として何が重要であるかを問う設問に対しては、「子供の教育効果」と「学校生活（集団生活）」が、他の回答を大きく引き離して重視されている様子うかがわれる。

## 4 今後の森町幼稚園及び小・中学校のあり方に関する検討課題

### (1) 課題の緊急性

今後の森町の人口推移の予測、国の施策動向、そして「学校のあり方に関するアンケート」の結果を見ると、町全体の学校配置のあり方については、対応すべき深刻な課題を有しており、森町に住む児童生徒の保護者にとって、子供を安心して委ねることができる教育環境を用意することは喫緊の課題である。

また、森町においては、人口に対する学校数が静岡県下の他の市町に比べても相対的に多く、公共施設マネジメントの観点からも、将来にわたり現在の学校数・規模を維持することは相当の困難を伴う。

このことから、長期的に維持することの可能な教育環境の整備に向けて、早急に具体案の検討を開始することが望まれる。

### (2) 検討の視点

#### ① 全町ぐるみの対応

学校配置の問題は、小規模校を抱える地域のみの問題ではなく、森町全体の問題であり、全町的に学校のあり方を検討することを糸口として、未来にわたって希望の持てる町づくりを推進していくことが望ましい。

#### ② 望ましい学校規模

まず、学校規模として最適と目されるのは、小学校については、1学年当たり2学級程度、中学校については、1学年当たり3学級程度と想定される。ただし、アンケートの回答にはかなりばらつきがあり、この点も考慮する必要がある。

ただし、1学年当たり20人を下回ることが想定される場合には、学校再編を含む何らかの対策を講じる必要がある。実際の教育活動や交友関係も制限されることに加え、保護者の危機感も強くなることがアンケートにも示されている。

### ③ 学校再編についての考え方

学校規模の適正化を検討するに際しては、小規模校を近隣の学校に統合する案のほか、全町から通学する広域通学型の学校を開設したり、小学校と中学校の教育を一体的に行う小中一貫教育校を開設したりすることも選択肢の一つとして考えられる。または、一定規模の人数が確保される見通しが立つ場合には、小規模特認校や学校選択制を導入するなどの手立ても検討して良い。既存の学校イメージに縛られることなく、こうした多様な手立ての中から最適な方策を検討すべきである。

学校再編を検討する際、学校が地域コミュニティの核としての機能を併せ持っているということは、忘れてはならない。学校の配置を見直すことは不可欠であるにしても、学校がなくなることでコミュニティの核を失い、地域の疲弊を加速させていくような負のスパイラルが生じるようなことのないよう、最大限の工夫を講じる必要がある。

学校施設を継続して維持することの困難な地域には、例えばICT関連活動や音楽機器、体験活動施設を充実させて、学校教育活動の一部をそこで行ったり、放課後子供教室や放課後児童クラブ等の機能を充実させたりするなど、小規模校が培ってきた地域ぐるみの教育を、今後とも維持・発展させていくしくみの導入も検討することができる。

なお、幼稚園のあり方については、具体的な検討にまでは及ばなかった。アンケート結果を見ると、母親の就労形態の多様化に伴う保育需要の増大等により、幼稚園の再編を望む声が多数あることから、預かり保育の拡充や保育機能を併せ持つ「認定こども園」への移行等の研究が必要であると思われる。発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育を推進するために、幼稚園がどうあるべきかの検討を望む。

### ④ 検討の進め方

今後は、本会の議論を土台として、教育委員会と町長部局が緊密に連携を取りつつ、協力してリーダーシップを発揮し、未来の町全体の教育像を視野に入れた、具体的・長期的な計画が策定されることが期待される。

そのために、教育委員会と町長部局の実務関係者からなる検討組織を設け、今後の学校・地域コミュニティ双方のあり方について具体的議論を行う必要がある。また、学校再編の影響を大きく受ける地域の住民に対しては、説明・意見交換の機会を設けた上で、保護者や地域住民にとって希望の持てる教育コミュニティの形成に向けて、より多数の合意を形成できるよう努力を重ねていくことも必要である。

結論を得るべき時期については、今後の検討の経緯にもよるが、本検討会としては上述の緊急性を鑑みると、一つの目安として平成30年度を目途に方向性を得ることを提案したい。

今後全町を挙げたより具体的な学校づくりの議論が展開され、学校教育がより充実するとともに、学校を基盤に森町が更なる発展を遂げることを願う。

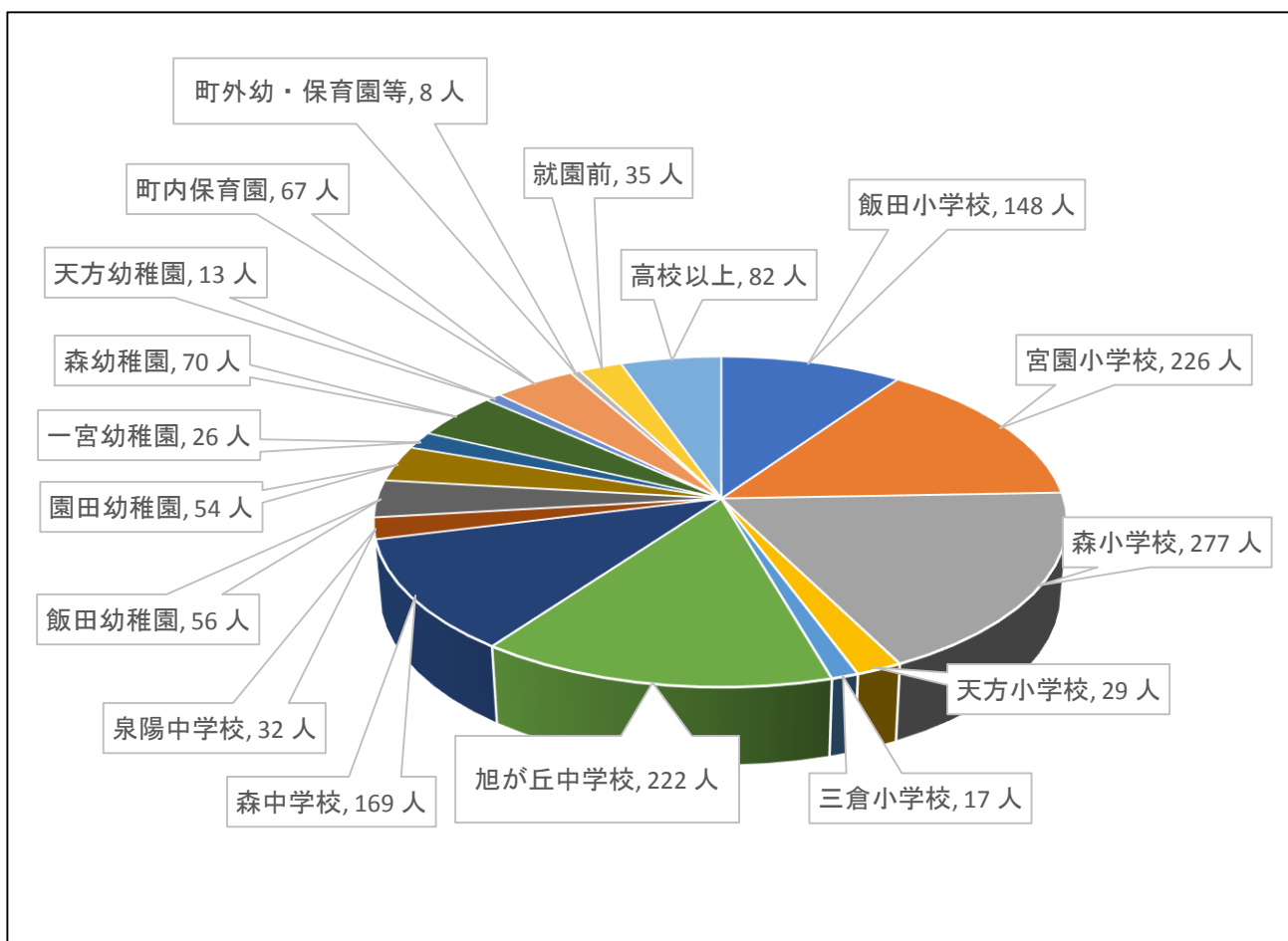
# 学校のあり方に関するアンケート調査

# 森町内学校区まとめ

実家庭数 1051 件回収

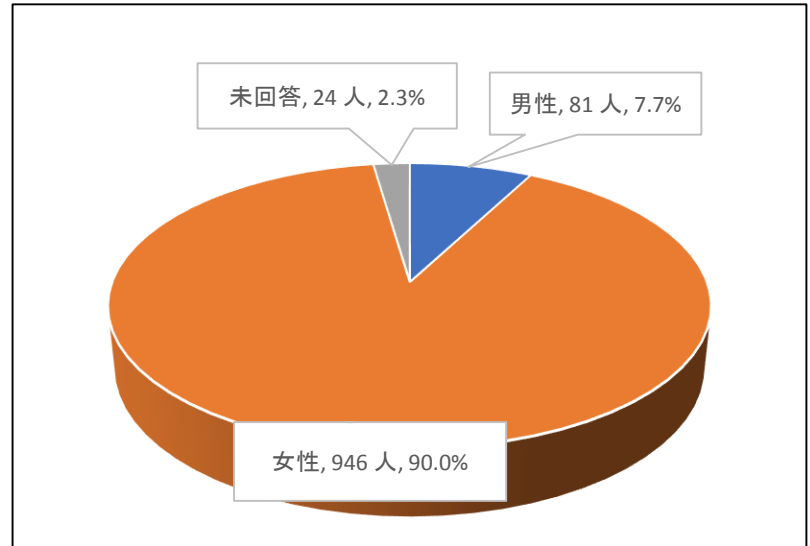
問1 現在通っている幼稚園・小学校・中学校等（複数回答項目）

飯田小学校	148 人	旭が丘中学校	222 人	飯田幼稚園	56 人	町内保育園	67 人
宮園小学校	226 人	森中学校	169 人	園田幼稚園	54 人	町外幼・保育園等	8 人
森小学校	277 人	泉陽中学校	32 人	一宮幼稚園	26 人	就園前	35 人
天方小学校	29 人			森幼稚園	70 人	高校以上	82 人
三倉小学校	17 人			天方幼稚園	13 人		

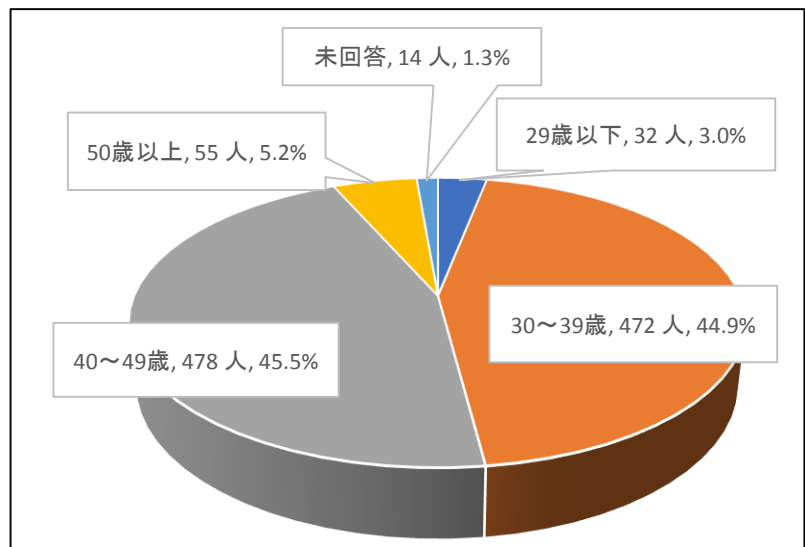


問2 アンケート回答者の性別と年代

性別	人数	割合
男性	81 人	7.7%
女性	946 人	90.0%
未回答	24 人	2.3%

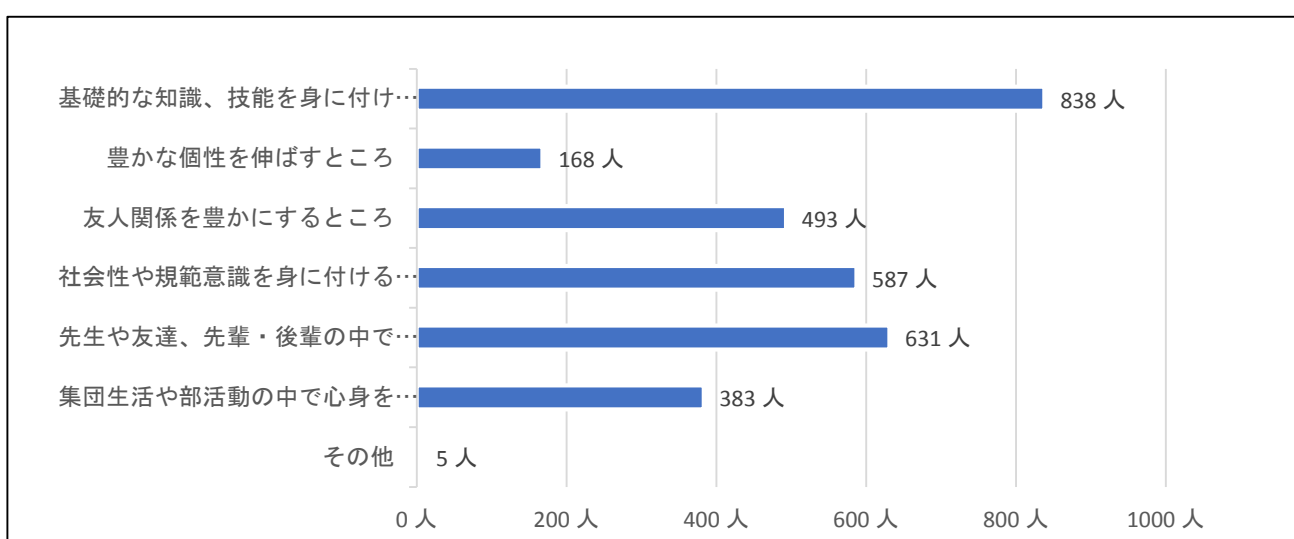


年代	人数	割合
29 歳以下	32 人	3.0%
30～39 歳	472 人	44.9%
40～49 歳	478 人	45.5%
50 歳以上	55 人	5.2%
未回答	14 人	1.3%



問3 子供にとって、学校とはどのようなところであるべきか（3つ選択）

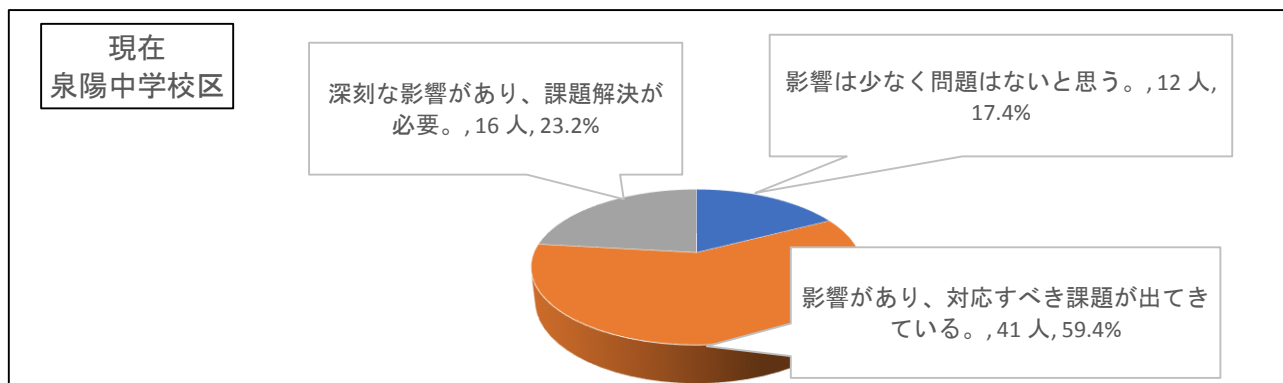
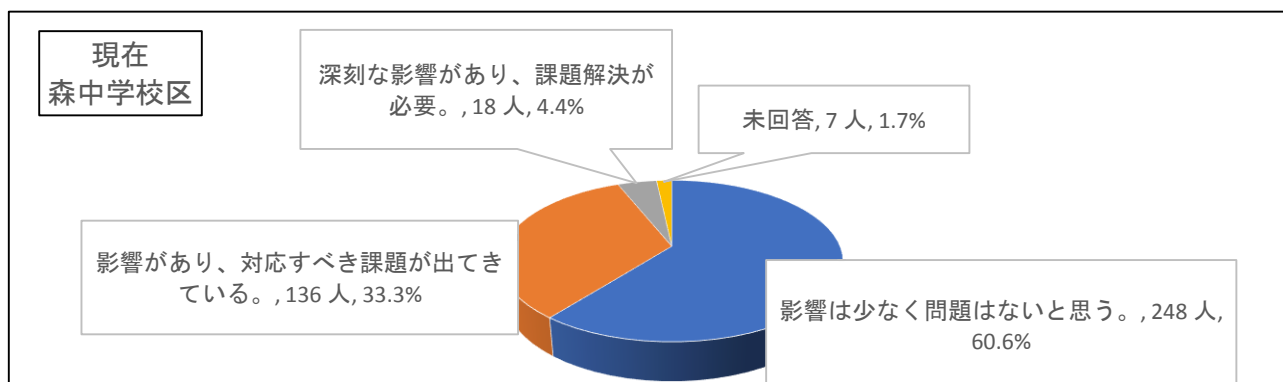
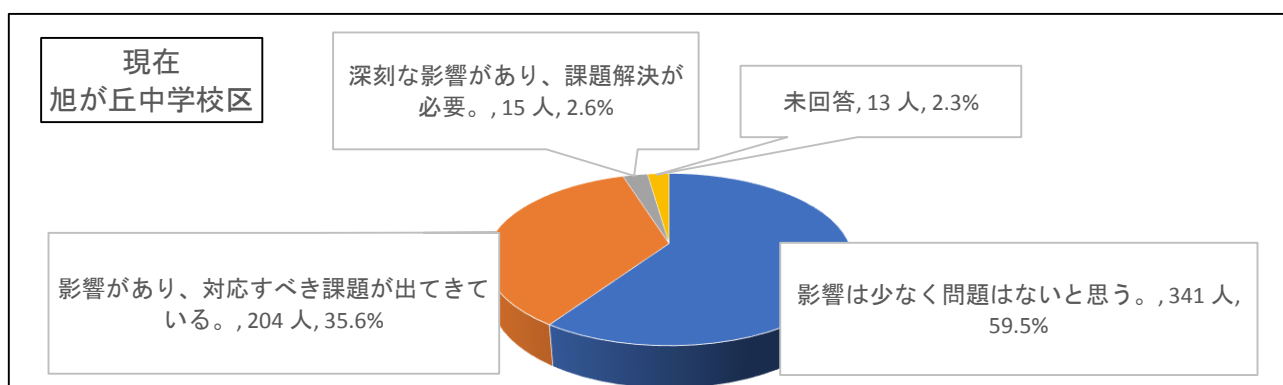
基礎的な知識、技能を身に付けるところ	838 人
豊かな個性を伸ばすところ	168 人
友人関係を豊かにするところ	493 人
社会性や規範意識を身に付けるところ	587 人
先生や友達、先輩・後輩の中で多様な人間関係を学ぶところ	631 人
集団生活や部活動の中で心身を鍛えるところ	383 人
その他	5 人



その他	校内服で、オシャレだと思うが最近は更に格好つけすぎで困る。抑えるべきである。 (学校主体で)
	人としての成長を促し、見守り、心を育てるところ。
	地域に目を向けることで世界にも通じる行動が子育てには必要。それに合わせ家族と学校との連携が大切だと思います。
	新しいことを身につけるところ。
	年齢や様々なカテゴリーを越え、豊かな学校生活を送るためデモクラシー的に意見を表現し合い、あるべき社会生活の模範を実行できるところ。

問4 児童生徒の減少についての影響や課題（現在）

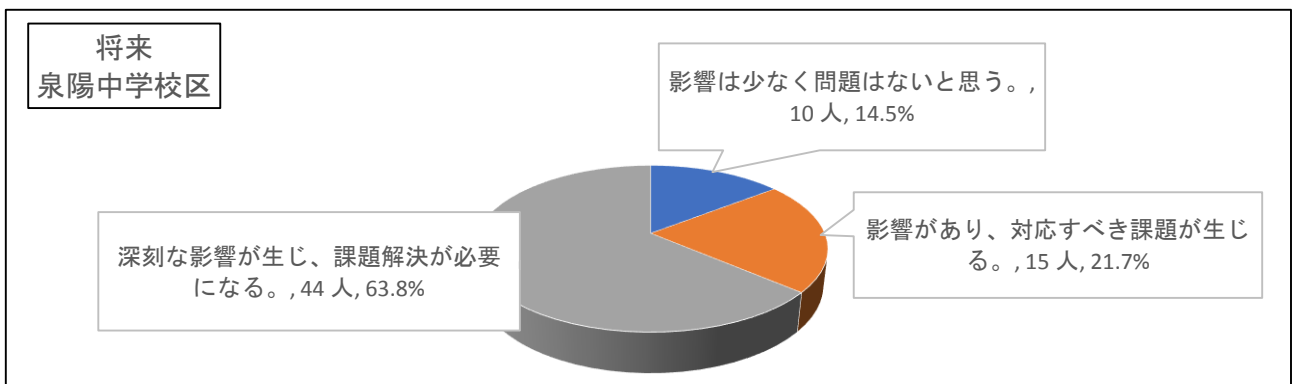
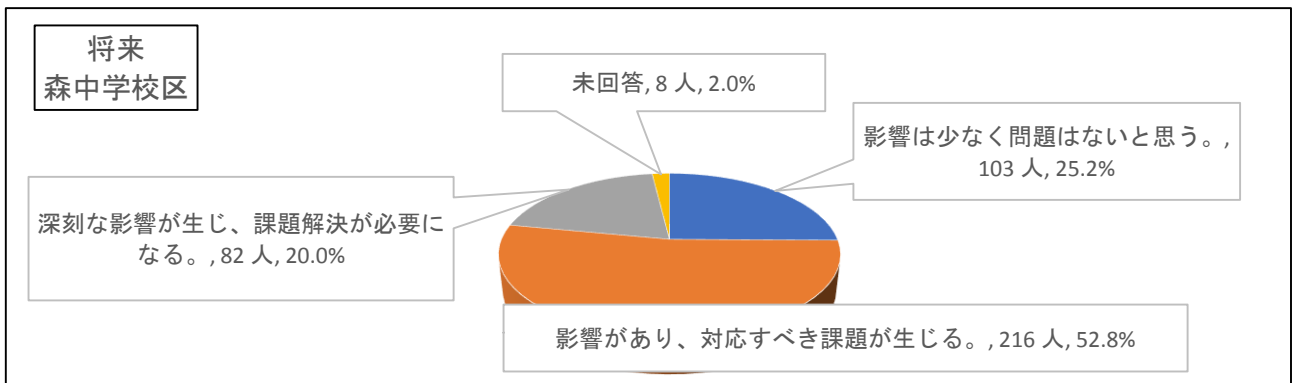
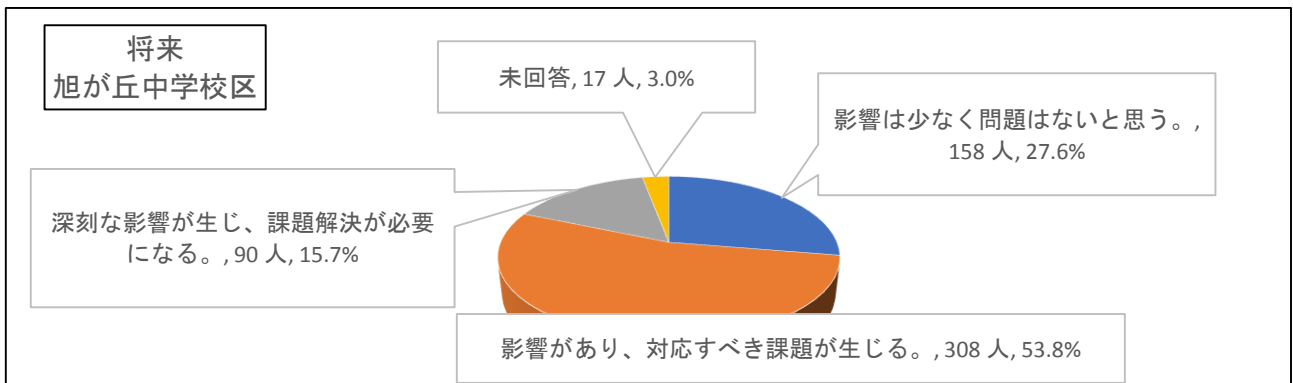
現在	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
影響は少なく問題はないと思う。	341 人	59.5%	248 人	60.6%	12 人	17.4%
影響があり、対応すべき課題が出てきている。	204 人	35.6%	136 人	33.3%	41 人	59.4%
深刻な影響があり、課題解決が必要。	15 人	2.6%	18 人	4.4%	16 人	23.2%
未回答	13 人	2.3%	7 人	1.7%		





児童生徒の減少についての影響や課題（将来）

将来	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
影響は少なく問題はないと思う。	158 人	27.6%	103 人	25.2%	10 人	14.5%
影響があり、対応すべき課題が生じる。	308 人	53.8%	216 人	52.8%	15 人	21.7%
深刻な影響が生じ、課題解決が必要になる。	90 人	15.7%	82 人	20.0%	44 人	63.8%
未回答	17 人	3.0%	8 人	2.0%		

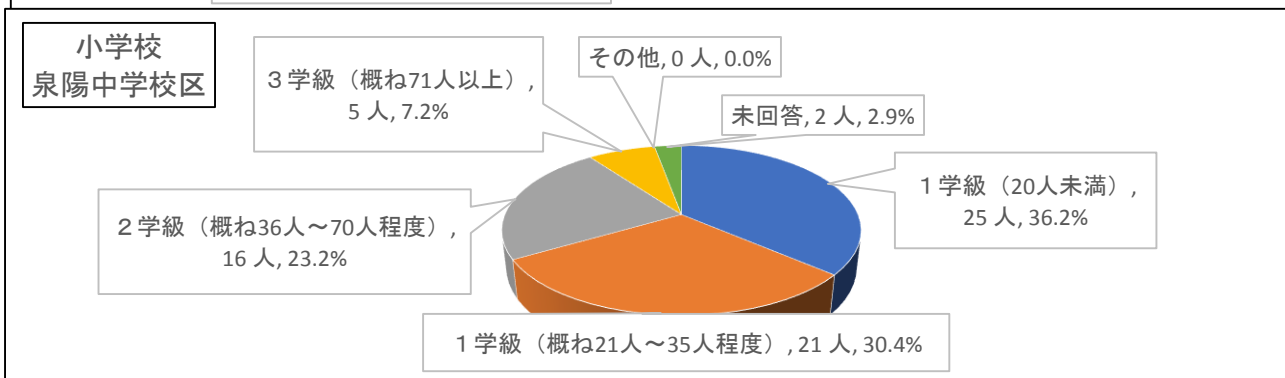
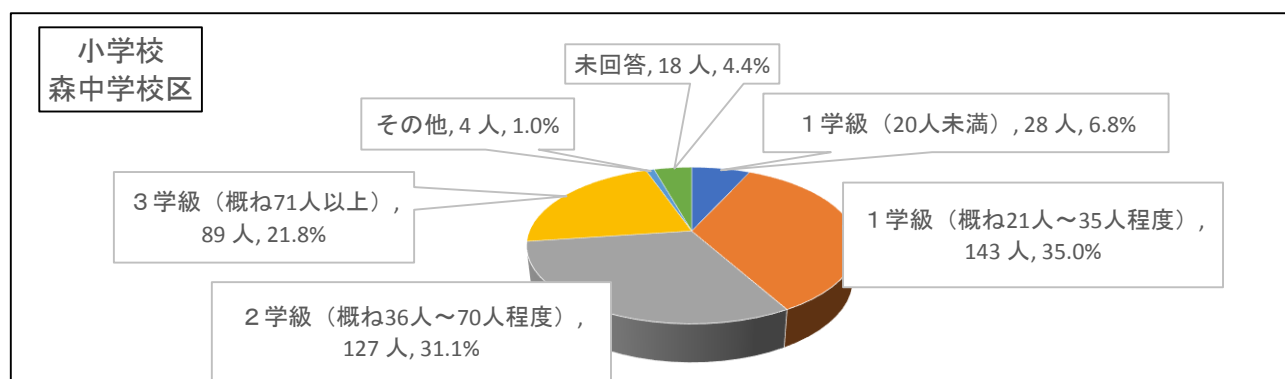
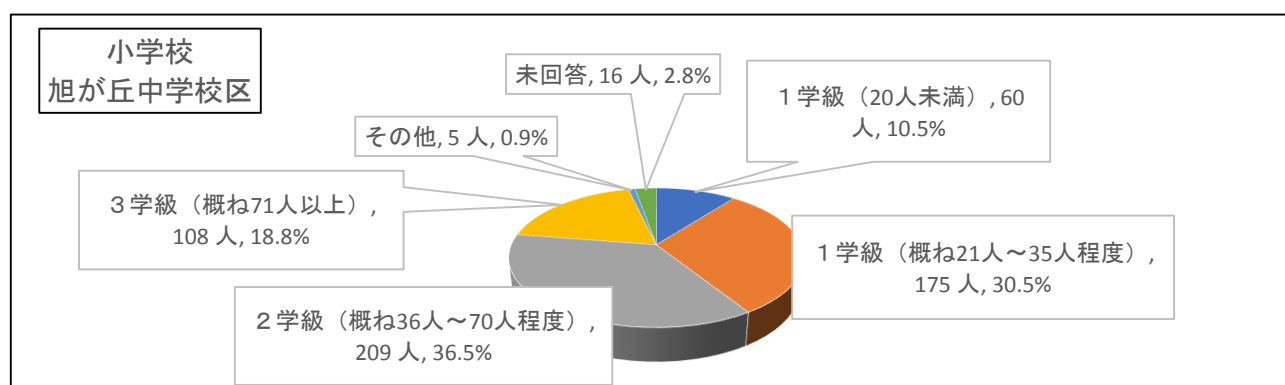


問5 問4に対する記述回答（自由記述につき省略）

問6 1学年あたりの理想的な学級数及び人数（小学校）

小学校	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1学級（20人未満）	60人	10.5%	28人	6.8%	25人	36.2%
1学級（概ね21人～35人程度）	175人	30.5%	143人	35.0%	21人	30.4%
2学級（概ね36人～70人程度）	209人	36.5%	127人	31.1%	16人	23.2%
3学級（概ね71人以上）	108人	18.8%	89人	21.8%	5人	7.2%
その他	5人	0.9%	4人	1.0%	0人	0.0%
未回答	16人	2.8%	18人	4.4%	2人	2.9%

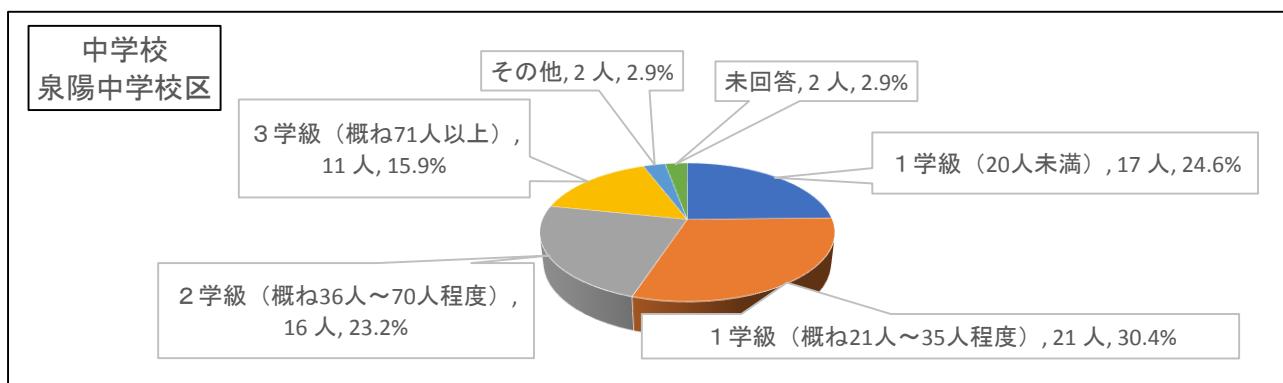
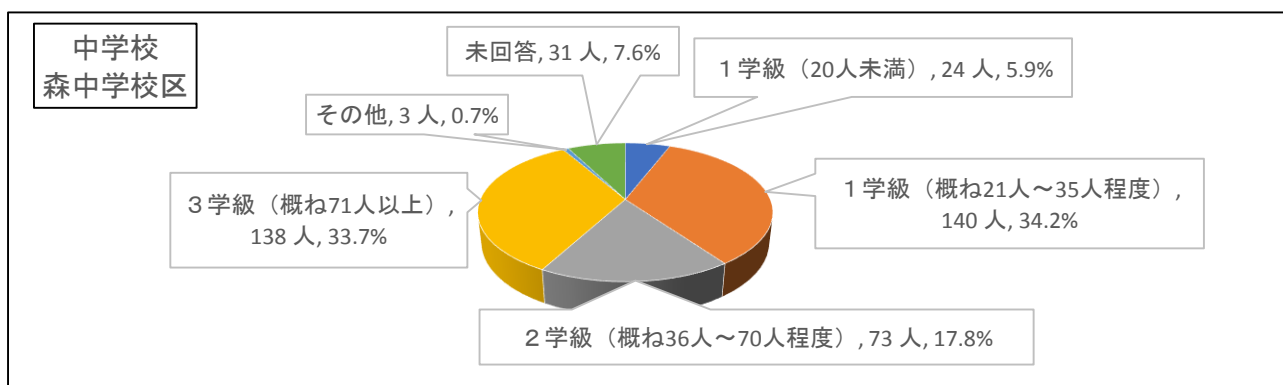
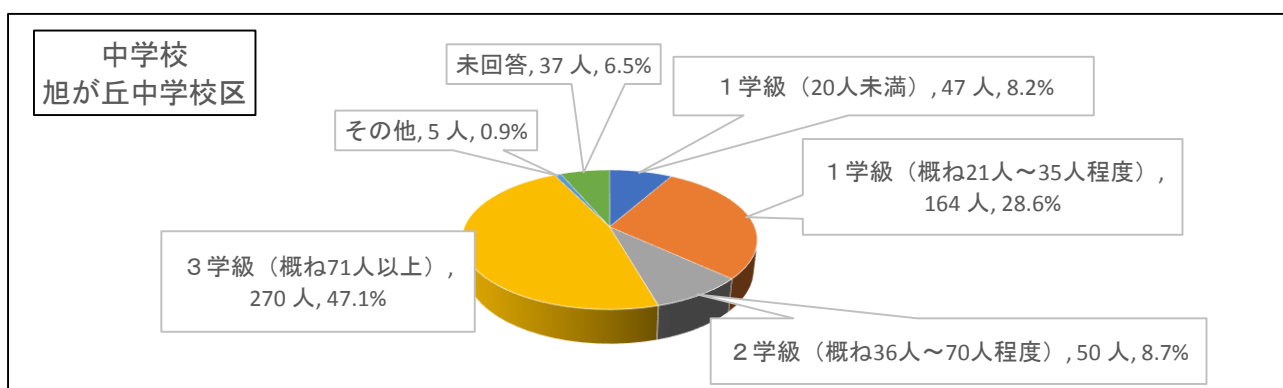
※ただし、1学級を選んだ方の中には、1学級当たりの人数のみに着目した回答と思われるものが多く見受けられます。



1 学年あたりの理想的な学級数及び人数（中学校）

中学校	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 学級（20 人未満）	47 人	8.2%	24 人	5.9%	17 人	24.6%
1 学級（概ね 21 人～35 人程度）	164 人	28.6%	140 人	34.2%	21 人	30.4%
2 学級（概ね 36 人～70 人程度）	50 人	8.7%	73 人	17.8%	16 人	23.2%
3 学級（概ね 71 人以上）	270 人	47.1%	138 人	33.7%	11 人	15.9%
その他	5 人	0.9%	3 人	0.7%	2 人	2.9%
未回答	37 人	6.5%	31 人	7.6%	2 人	2.9%

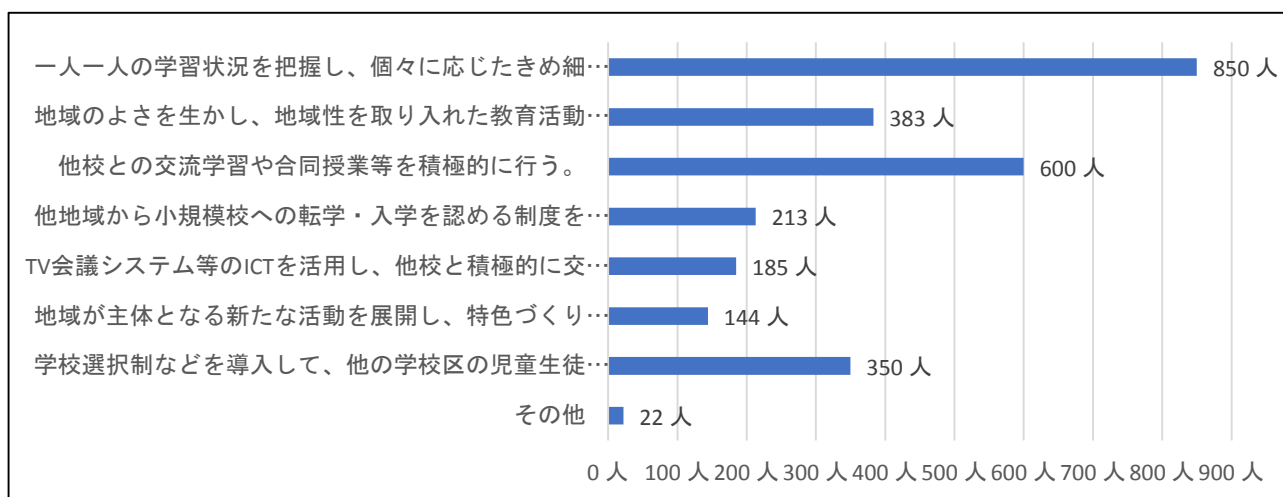
※ただし、1 学級を選んだ方の中には、1 学級当たり的人数のみに着目した回答と思われるものが多い見受けられます。



問7 問6に対する理由（自由記述につき省略）

問8 学校の小規模化が進行した場合の方策について（3つ選択）

一人一人の学習状況を把握し、個々に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。	850 人
地域のよさを生かし、地域性を取り入れた教育活動を行う。	383 人
他校との交流学習や合同授業等を積極的に行う。	600 人
他地域から小規模校への転学・入学を認める制度を導入して、児童生徒数を増やす。	213 人
TV 会議システム等の ICT を活用し、他校と積極的に交流する。	185 人
地域が主体となる新たな活動を展開し、特色づくりを行う。	144 人
学校選択制などを導入して、他の学校区の児童生徒も受け入れる。	350 人
その他	22 人

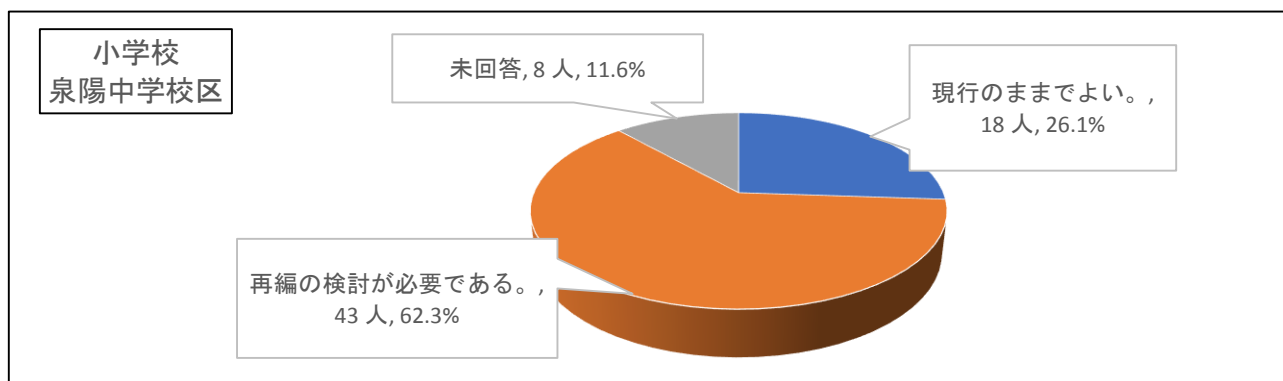
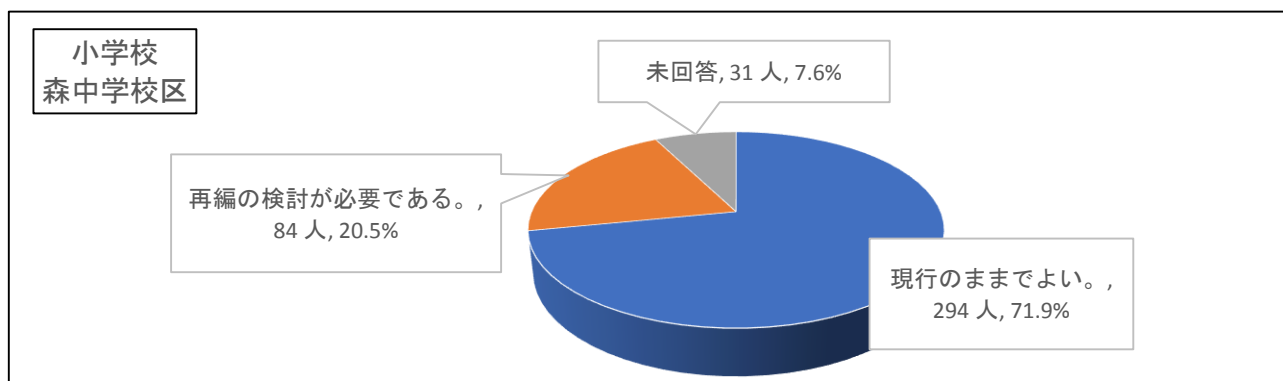
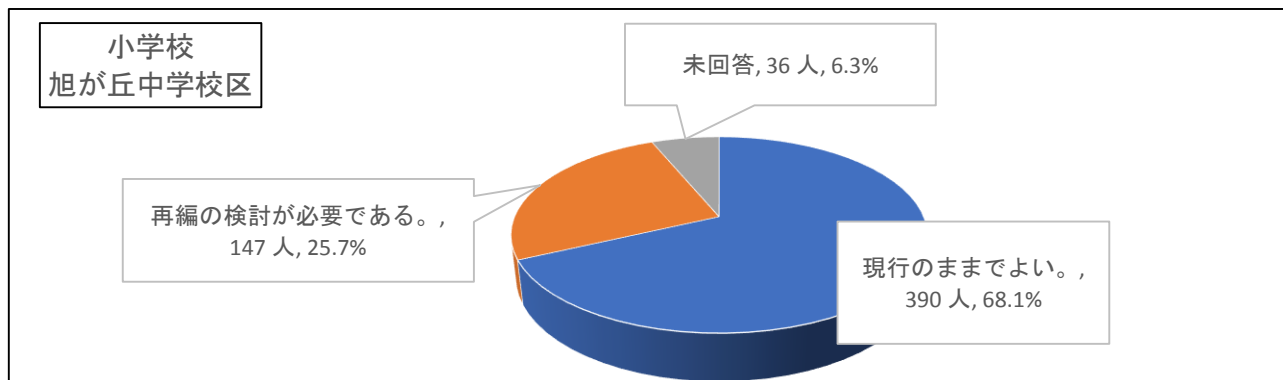


その他回答

その他	旭が丘中学校区	教室、体育館、校庭などに余裕があり、活用しやすい。
		種子島「宇宙×島留学」制度の様に、森町ならではの特色を生かした学びを取り入れてみてはどうか。
		産業体験制度、自然を生かしたアドベンチャー制度など
		(森町内の) 近くの学校を一つにまとめる。森町に3つも小学校いるのですか？
		一つの学校の人数に限られるのであれば、積極的に他校との交流をはかることで解決できることもあると思う。
		地域を重要にするのも程々にした方がいいと思う。
		項目の中に有効と思われるものがない。
		4, 7に関しては他地域よりの受入は難しいかと思う。
		交流学习、合同授業、新システムの導入なども一手段とは思いますが、先生方の負担大にならない方法も考慮することが必要だと思います。
		部活を強くする。
		同学年だけでなく他校種との交流をしてほしい。幼、小、中、高、特支
		森町の小規模校はわざわざ他の市町から入学してくるとは思えない。学区を統合していくことで、一定の児童数規模を確保していくしかないのでは。
		根本的に森町で出産したい、子育てしたい、住みたいと思わせれるようなことをしていかないと子供は増えないと思う。
		小規模校が悪いとは思わない。
		統合してしまう。
その他	森中学校区	先進国なのに英語がないと思う。
		「学校選択制などを導入して、他の学校の児童生徒も受け入れる。」に関しては、こちらも自由に他地区に出ていけることも含めてです。(一方通行にあらず)
		学校の統合
		泉陽は森に通えばいい。周南中は三川や今井など遠くから通っているから通えると思う。
		現行のままでよい。
		森町だったら5つある小学校を生徒数に応じて、1, 2校にまとめる。 廃校もやむを得ないと思う。
その他	泉陽中学校区	他校との交流は、とても良く、やはりお兄ちゃんの時も袋井北小と交流があり、たくさんの児童と勉強をしたことがとても良く、今でもつながりがあり良い経験でした。
		メリットと感しない。
		規制緩和をして特色ある学校づくりを行う。
		森町の人口が減っています。まず、町の人口を増やす努力をしてもらいたいと思います。

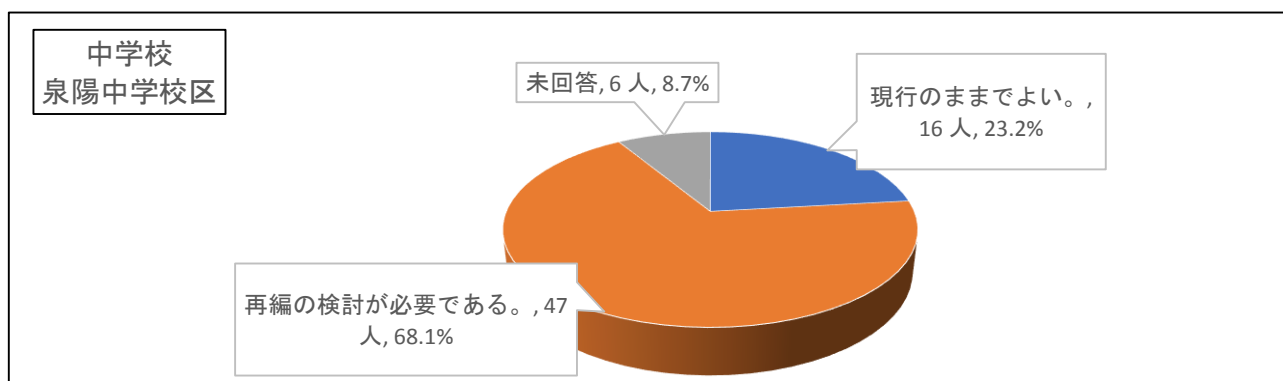
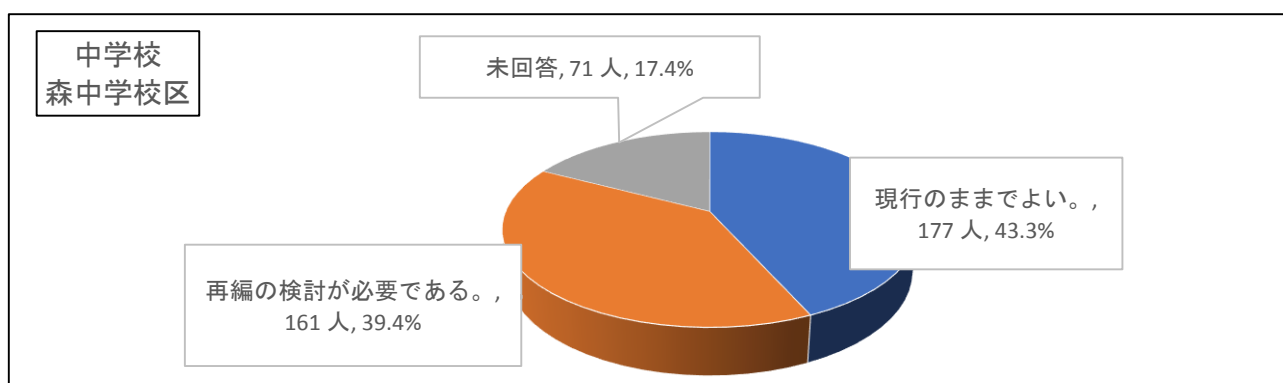
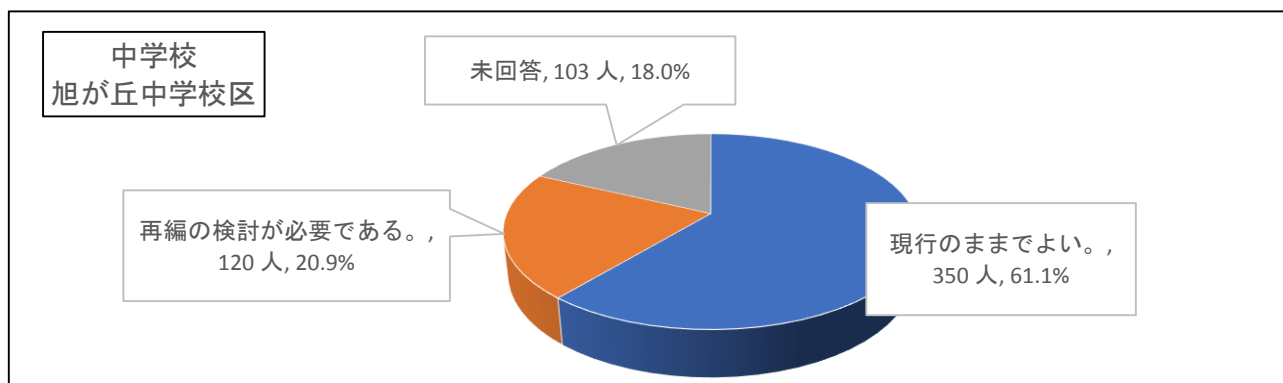
問9 現在通っている学校について、森町における今後の対応（小学校）

小学校	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現行のままでよい。	390 人	68.1%	294 人	71.9%	18 人	26.1%
再編の検討が必要である。	147 人	25.7%	84 人	20.5%	43 人	62.3%
未回答	36 人	6.3%	31 人	7.6%	8 人	11.6%



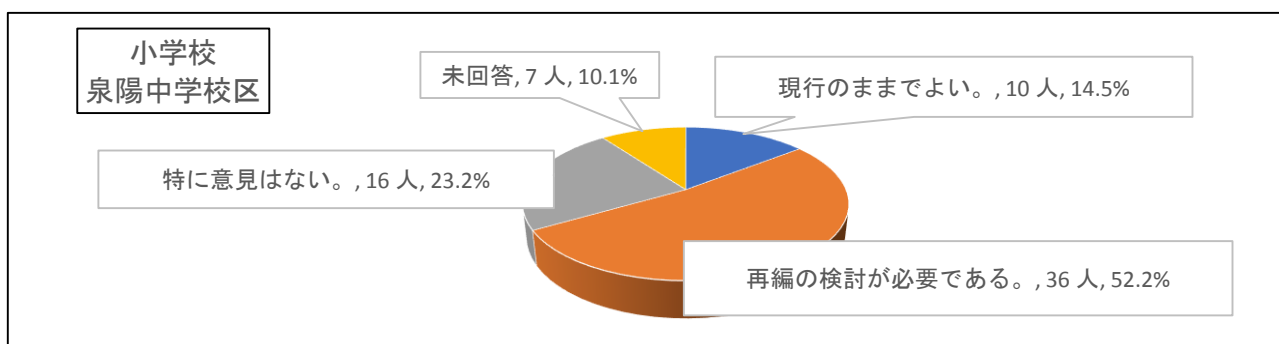
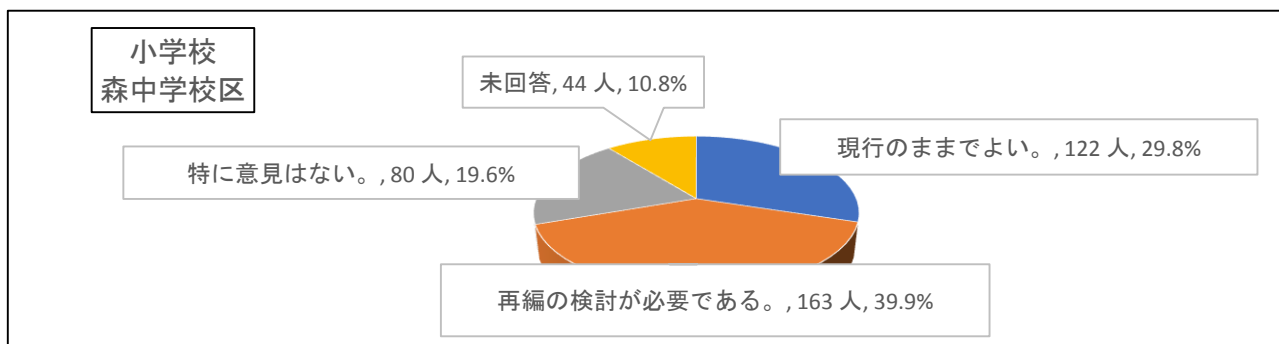
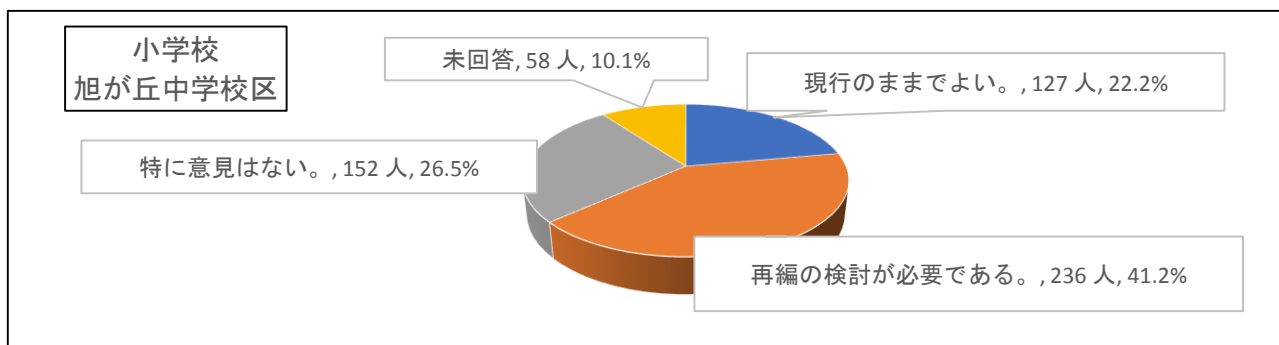
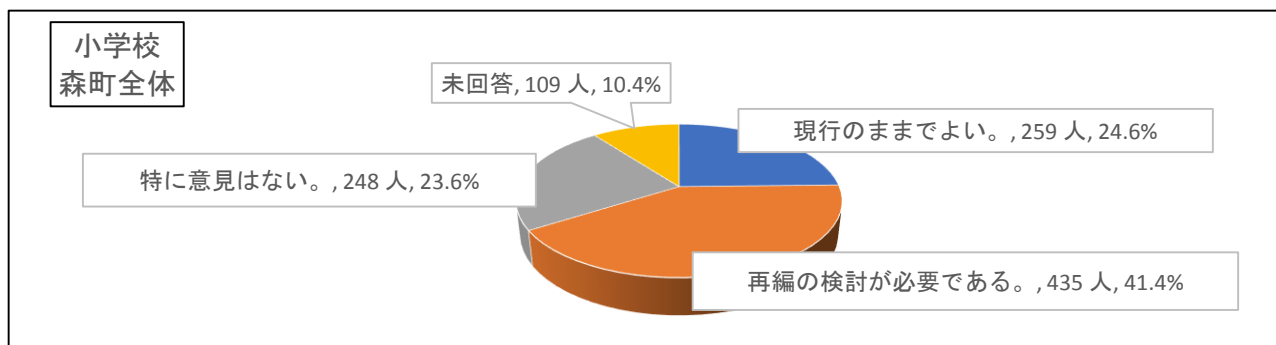
現在通っている学校について、森町における今後の対応（中学校）

中学校	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現行のままでよい。	350 人	61.1%	177 人	43.3%	16 人	23.2%
再編の検討が必要である。	120 人	20.9%	161 人	39.4%	47 人	68.1%
未回答	103 人	18.0%	71 人	17.4%	6 人	8.7%



問 10 森町全体の学校について、森町における今後の対応（小学校）

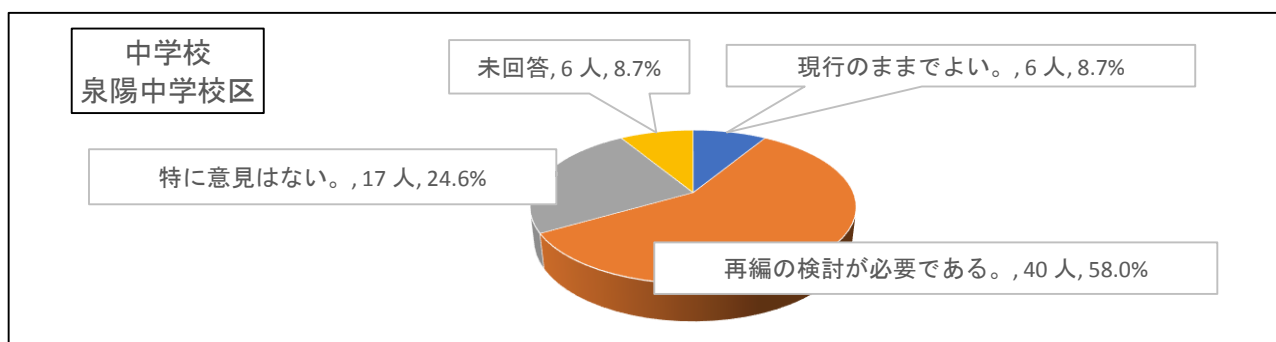
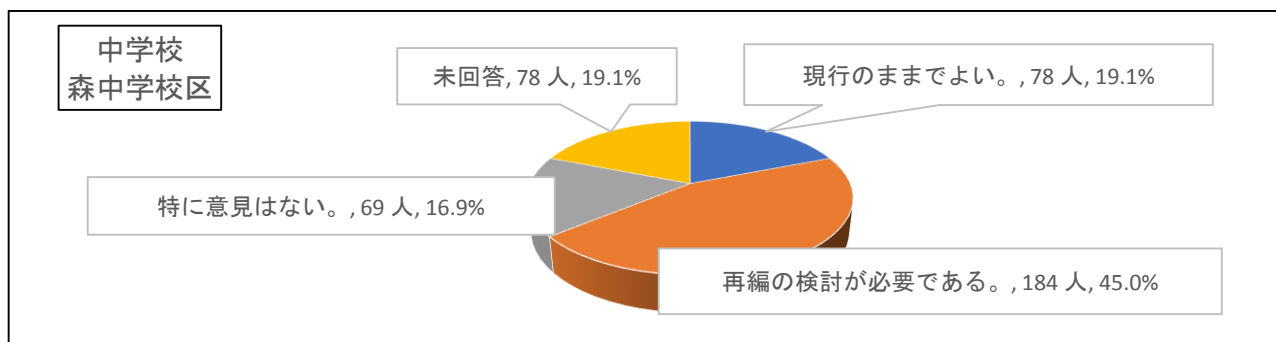
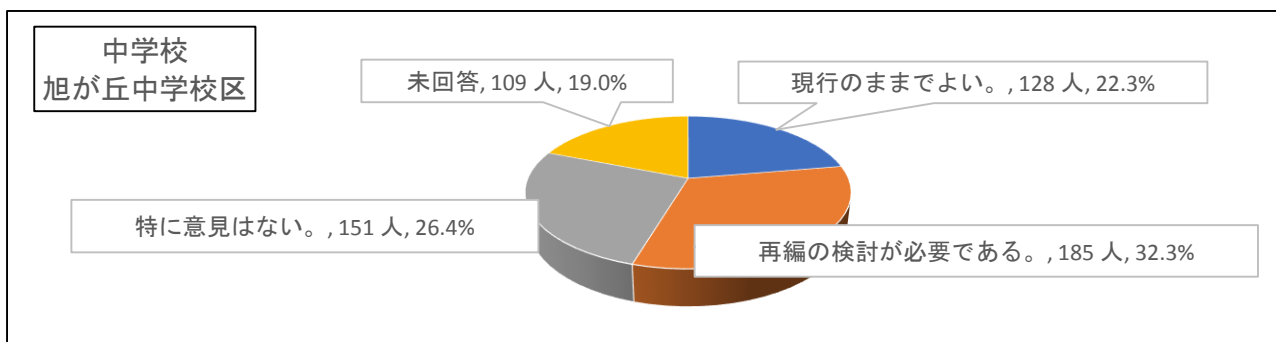
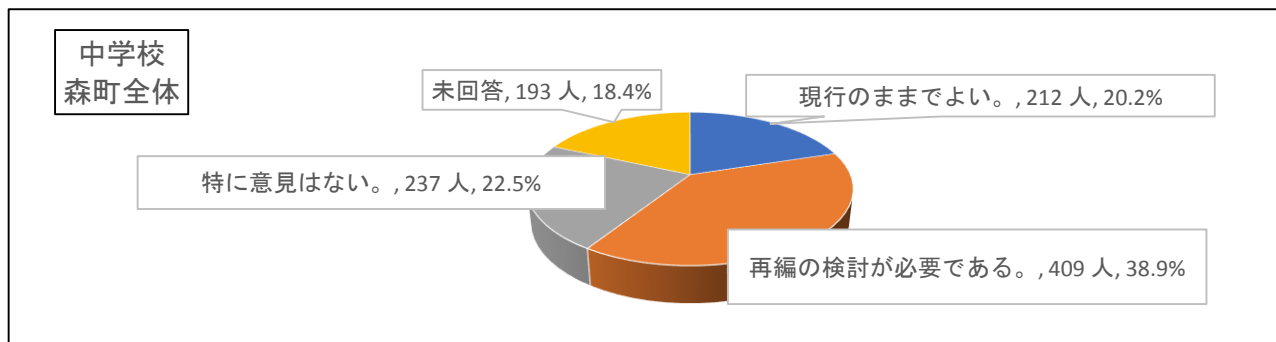
小学校	森町全体		旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現行のままでよい。	259 人	24.6%	127 人	22.2%	122 人	29.8%	10 人	14.5%
再編の検討が必要である。	435 人	41.4%	236 人	41.2%	163 人	39.9%	36 人	52.2%
特に意見はない。	248 人	23.6%	152 人	26.5%	80 人	19.6%	16 人	23.2%
未回答	109 人	10.4%	58 人	10.1%	44 人	10.8%	7 人	10.1%





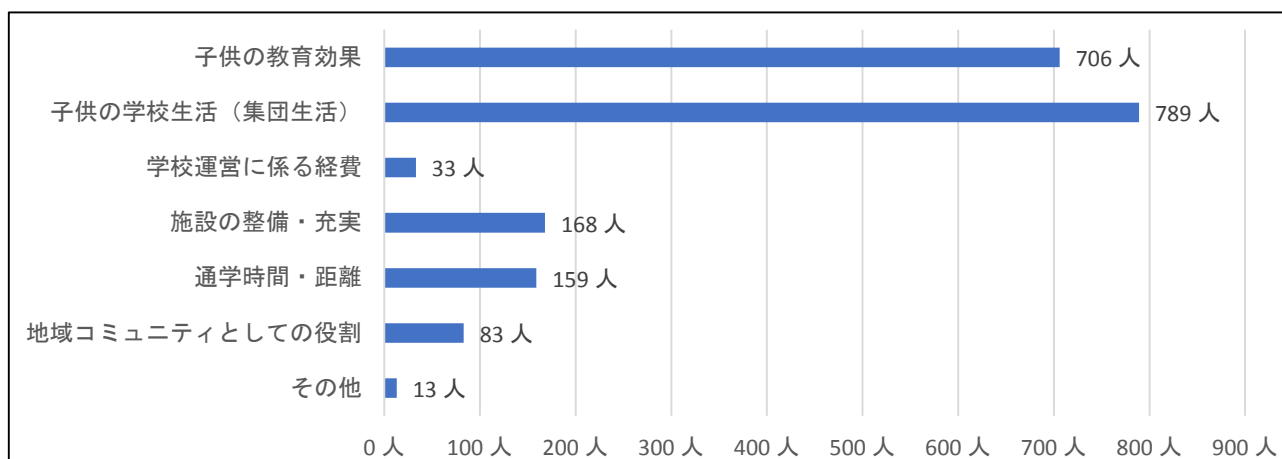
森町全体の学校について、森町における今後の対応（中学校）

中学校	森町全体		旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現行のままでよい。	212 人	20.2%	128 人	22.3%	78 人	19.1%	6 人	8.7%
再編の検討が必要である。	409 人	38.9%	185 人	32.3%	184 人	45.0%	40 人	58.0%
特に意見はない。	237 人	22.5%	151 人	26.4%	69 人	16.9%	17 人	24.6%
未回答	193 人	18.4%	109 人	19.0%	78 人	19.1%	6 人	8.7%



問 11 学校のあり方について重要だと思うこと（2つ選択）

子供の教育効果	706 人
子供の学校生活（集団生活）	789 人
学校運営に係る経費	33 人
施設の整備・充実	168 人
通学時間・距離	159 人
地域コミュニティとしての役割	83 人
その他	13 人

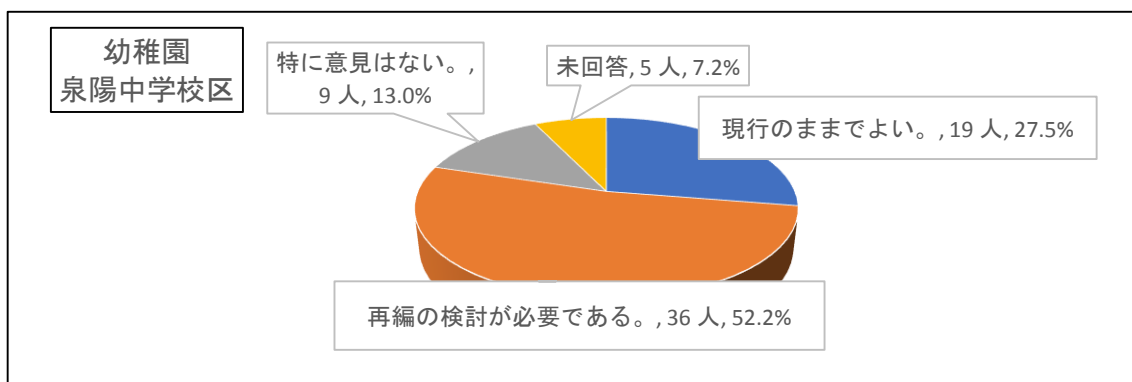
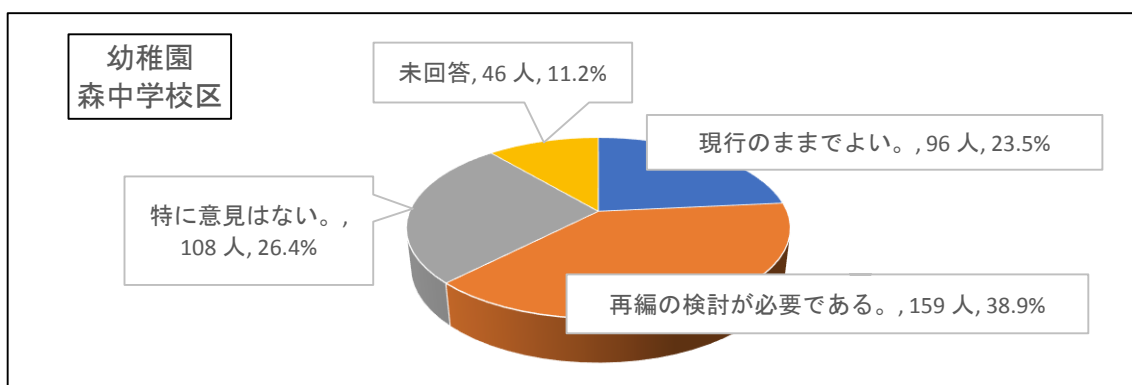
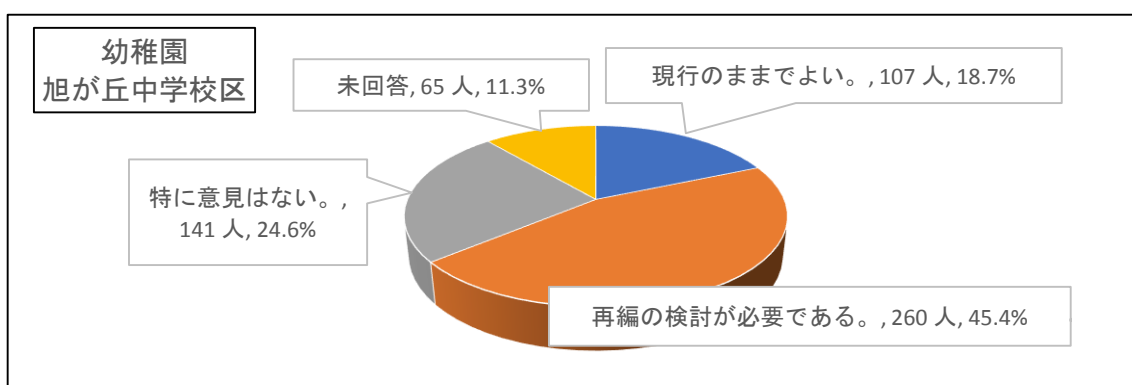


その他

その他	旭が丘中学校区	生涯の友人を得ることだと思います。
		トイレを和から洋にするべき。
		学校が近ければ、その分有利。遠い子は歩くことも大切だが、同じようにするため、お金を個人で払ってもバスなどOKにすべき。
		教員も町内の出身者で、町内の歴史や伝統芸能を理解している方がよい。
		先生たちへの教育
	森中学校区	先生の残業時間云々よりも、子供にとって有益か否かを第一に優先に考えなければ、学力の向上は望めないのではないか。
		教職員の労働時間の軽減
		学習内容の理解をしっかりとさせる。
		2つだけでは決められない
		都会と田舎の教育格差を少なくする。田舎の利点は残す。ただし、教育や部活動において、子供達が望む環境を整え、チャンスを与えることが必要。
	トイレをすべて洋式にしてほしい。	

問 12 森町立幼稚園について

幼稚園	旭が丘中学校区		森中学校区		泉陽中学校区	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現行のままでよい。	107 人	18.7%	96 人	23.5%	19 人	27.5%
再編の検討が必要である。	260 人	45.4%	159 人	38.9%	36 人	52.2%
特に意見はない。	141 人	24.6%	108 人	26.4%	9 人	13.0%
未回答	65 人	11.3%	46 人	11.2%	5 人	7.2%



問12 森町立幼稚園について(理由・意見)

【旭が丘中学校区】

回 答	現行のままでよい。
理由・意見	預かり保育が始まったので現行のままでよいと思う。 9件
	預かり保育の時間を延長したり、朝も行ったりするなど充実させるとよいと思う。 3件
	行事や役員など、親の負担が多いので減らすようにしてもらいたい。 4件
	幼稚園へ送迎するのにあまり遠いと安全面・時間に無理が出る。家から近い方がよい。 6件
	人数は少なく淋しい面もあるが、先生が目が一人一人にいきわたり、安心して任せられる。 2件
	就学前の幼児教育は必要だと思うから。
	それぞれの生活スタイルにあわせて、入園したい場所を選べばよいと思うから。
	森町は徒歩通園を強要しているので統合などは無理。幼保園、通園バス、特化科目の検討も良いと思う。
	老人施設と共用することも良いと思う。
	いずれ、再編を検討する必要があると思うが、幼稚園は初めて集団生活が始まる場であるので、小集団で良いと思う。
	現状で危機的な状況とは考えていないが、今から他校との交流を増やし、少人数の弊害は少なくできればより良いと思う。
	両方に子供を通わせたことがあるが、幼稚園には幼稚園の良さがあると思う。どちらを選ぶかは親の考えなので、今のままで良いと思う。
	自然の中で少人数ながらも、だからこそその温かい保育をしてくださりありがたい。
	延長保育のおかげで助かっているが、週1の午前帰りは午後までやってくれた方がよいと思う。
	共働きが増加し保育園でなければ預けられない家庭も多いと思うが、幼稚園は存続してほしい。すぐには再編の必要性はないが、園を残していくためには、必要なことになるとは思う。
	少人数の幼稚園に今通っているが、園児も学年を越えて仲がよく、保護者も派閥などなくわきあいあいとした雰囲気だから。集団登校で歩いて通っているので子供の体力がつく。
初めて園に子供を入れる時”預かり保育”がわからなくて、そういうサポートも知っていたら保育園ばかりではなくなるのではと思う。	

回 答	再編の検討が必要である。
理由・意見	幼稚園は親の負担が大きい。預かり保育があっても、平日に幼稚園に行く行事が多いので働くのには負担である。 40件
	幼保園(こども園)にして、幼稚園に保育機能を持たせるとよい。 63件
	園児減少にともなう統合は必要。小中学校と違って、親の送迎が可能だと思うので、多少距離があっても問題ないと思う。集団生活で学ぶことが多い。少人数では活動範囲が狭くなる。 33件
	幼稚園の降園時刻が早すぎる。お弁当も多い。 10件
	預かり保育の時間をもう少し長くした方が助かる。 22件
	預かり保育を利用しやすくする。条件を緩和する。(同居の祖父母・年少児5月開始) 6件
	長期休業中の預かり保育料の見直し(1,000円は高い) 2件
	幼稚園よりも保育園を増やしてほしい。 9件
	預かり保育が始まり、母親が働いていても幼稚園に通えるようになった。 2件
	現在休園中である三倉幼について、考えなければいけないと思う。 3件
	幼稚園も、もう少しメリットを増やせば人数も増えてくるのでは。 2件

理由・意見	幼稚園でも預かり保育がはじまり、共働きでも通いやすくなったと思う。もっと預かり保育について詳しく公表していけばいいと思う。	3件
	共働きの家庭が増えているのに幼稚園が全く対応する気がないことにびっくり。他の市町村のやり方を学ぶ研修などに参加して共働きの親の気持ちを理解することが必要だと思う。	
	小学校の中に作っては？	
	幼稚園運営に掛かる経費が気になる。保育園の入園希望者が増えているならそちらにうまくシフトした方がいいと思う。	
	共働き世帯の増加の状況にあった園児の受入体制、時間を確保できるような形に変えていく必要があると思う。	
	統合は望ましくない。働きたい父母が増える中、送りに手間が要る。統合するなら園児バスの必要性あり。	
	森町の人口増加のためにも子育て世代の永住を目指した施策が必要であると思う。	
	天方三倉以外は園児数が減っているとはいえ、このままいくべきレベルだと思われる。幼稚園が遠くなったりして不便になれば保育園に通園させて働こうとする保護者の動きもあるかもしれない。	
	本当に幼稚園希望での幼稚園通所なのか、本当は保育園希望であったのか、もう少し本当の希望を把握しないと園児数だけでは適切な検討ができないのでは。問1～11と問12は検討のやり方を変える必要があると思われる。	
	今は共働きの家庭がほとんどだと思う。幼稚園に入るから仕事を辞めなければいけないこともあり、見てくれる人がいない家庭は大変だと思う。	
	幼稚園の良さは、子供の成長に伴ってとても感じた。しかし、働かなければ生活していけない現状はある、保護者との意見交換の場は大切かと思う。	
	森の幼稚園はまわりの市の幼稚園に比べて現在の需要に合わず遅れている。	
	「THEいなかの公立」というイメージしかない。他市と比べても本当にひどい。	
核家族が増えていくことを考えて町として検討してほしい。		

### 【森中学校区】

回答	現行のままでよい。	
理由・意見	幼稚園は地域にあるのが理想だと思う。	2件
	預かり保育も始まり、以前に比べて働きやすくなり助かっている。	4件
	保育園は保育中心。幼稚園は教育面で、保育園ではできないことがある。	2件
	待機児童が多いという全国的な問題があるが、保育士が足りないのであればどうすることもできない。仕事をしないできない母親もいると思うので、幼稚園をなくすことはできない。園児数が減少してもしかたがない。	2件
	ある程度的人数(集団)の中で、社会への適応の準備ができれば良いと思う。	3件
	個々に応じた細かい対応が必要	
	共働き世帯にとっては、保育園はとても重要でなくてはならないところでもあるし、母親が働いていない家庭では、やはり、幼稚園も必要なのでは？	
	幼稚園で延長保育があり通常は良いが、保育園より行事が多く仕事を休まなくてはならないので保育園人気があると思う。でも保育園の良さ悪さ、幼稚園の良さ悪さがあるので、同じにするより違いがあるから選べるのだと思う。	
	行事などが多いという理由で保育園を選ぶ傾向にあるように思うが、子供が幼いうちに少しでも関わりたいと思う家庭は、幼稚園を選んでいっていると思うので、現行のままでよい。	
	合併をすると共働き世帯の場合、送迎に無理が生じてくると思う。	

回 答	再編の検討が必要である。	
理由・意見	幼保園(こども園)の設置の検討	28件
	共働き世帯の負担にならないように行事等を考える。減らす。	19件
	他の幼稚園との統合	12件
	預かり保育の時間延長や、年少も4月から預かり保育が利用できると良い。長期休暇の金額が高い。	9件
	預かり保育は大変助かっている	3件
	幼稚園の降園時刻を遅くする。	3件
	バレエ、英語、習字等、個性を引き出す特色ある活動を行う。	2件
	幼稚園はバスにしたり、個人の送り迎えにした方が良い。(集団は負担)	4件
	園舎の老朽化もあるので、新築してもよいのでは…	3件
	園児が少ないと、集団生活とは言えない。刺激を受けて成長してほしい。	2件
	幼稚園に通わせるメリットを増やす。	2件
	弁当を無くして欲しい。作る手間を考えて欲しい。せめて夏の弁当は食中毒が怖いのでやめてほしい。	2件
	働く家庭でも幼稚園に通える配慮があると良いと思う。	2件
	幼稚園も延長保育などもっとアピールするべき。	
	別途、幼稚園世帯へのアンケートを行い意見を聞いてほしい。	
	再編が必要と思うが、通学時間距離等の問題も出てくる	
	幼稚園の規模を縮小し、保育園の規模を増やした方が良いと思う。	
	幼稚園でも延長保育をしているので、保護者の意見を聞き対応できるところは考えなければいけないと思う。	
	共働きが増えていることは町の活性化にもつながると思う。それを妨げるべきではない。	
	旧周智校の跡地にあれば、小学校、アリーナ、役場など近くにあり、便利なのでは？有効活用できていない気がする。	
	小学生と一緒に登園する形を取り、園への通園を森町自体が強く言うようにすれば園児数は極端には減らないと思われる。送迎も小学生に任せ、途中での見守りで十分だと思う。	
	子ども園など、再編する際には「将来どのような子供たちになって欲しいか」から考えていくと良いと思う。保育園は保育園、幼稚園は幼稚園と別々であることが良いと思う。保育園はパンクしている様なので拡大が必要だと思う。現場の先生方、保育士さんたちも交えて良い案をみつけて欲しいと思う。	
	森幼稚園での教育(自然と親しみ、園外へ出掛けたり、季節の行事を楽しむ活動)は全国でも珍しい素晴らしい指折りのものだと思う。この教育が近年、児童数の減少という理由、先生、親の負担の軽減等の理由で少なくなってきた。とても残念。	
他の地域から子供を集めてでも、この全国に誇れる教育を残すべき。もっとこのすばらしさをアピールすべき。幼稚園は他の私立と同じく、広く他地域にも魅力をアピールして園児を集めてもよいと思う。		
病児保育や一時保育といった受入条件を緩和するとともに、施設やサービスを向上させることによって、他地域からの転入増を目標とした新たな育児支援策を検討するべきだと思う。		

【泉陽中学校区】

回答	現行のままでよい。	
理由・意見	幼稚園は少人数が良いと感じるから。	3件
	地区の人たちとのふれあいや協力など幼稚園の時には特に感じていたので、各地区にあることがふさわしいと思う。	2件
	子ども園などへの動きもある地域もあるかと思いますが、メリットが良くわかりません。幼稚園は通常距離が長くなるのはつらいのでこのままで良いと思う。	
	預かり保育もあり、働けないことはないと思うから。	
	保育園もいいが、幼稚園の教育が良いと思っているので今のままで良いと思う。	
幼稚園は親が迎えに行かなくてはならない時や、行事がたくさんあるので、できるだけ近い方がいいのか…と思うことがあります。		

回答	再編の検討が必要である。	
理由・意見	仕事をしていると幼稚園では無理。幼保園(こども園)などにするといいと思う。	7件
	幼稚園こそ集団生活を学ぶ場だと思う。ある程度の人数が必要	4件
	保育園の入園希望が増えているので、幼稚園の数を減らすのではなく、全ての幼稚園で預かってもらえる時間の延長や長期休み中の預かりを実施すべきだと思う。そうすれば、人数のかたよりもなかなくなると思う。	3件
	幼稚園の人数が増えるといい。幼稚園では、自分の考えを発表することを学び、最初は一人でできず泣いていたが、1年かけて皆と同じように学び、小学校に上がると、自信をもって発表できるようになった。多くの良さを、幼稚園の指導者から子供に与えていただいた。	
	子供の数が減ってきているのは明らかなので、統合せざるをえない。	
	幼稚園で学ぶことは、とても大切だと思っているので、祖父母との同居などに同居手当や税金の免除などをして森町に人を多く入って来てもらう。	
	共働きの世帯が増えているのは女性の社会進出とかよりも不景気だと思う。幼稚園へ通う間くらいは、主婦が働きに出なくてもいいくらいの助成制度がないと少子化とか人口減少について真摯な姿勢であるとは言えないのでは。	
	子育てをしたくなくて、フルタイムで働かずパートの人がいる。もっと入園希望者の見方を厳しくすべき。働きたい親がいても同居だからと入園できない家庭がある。	
幼稚園のことはよく分かりませんが、預かり保育ができたので働いていても可能なのでは？働いているお母さんにどういことを望んでいるのかアンケートをしてみたらどうですか？幼稚園がこうしてくれたら幼稚園にしたいと思う人がいるのでは。		

問 13 森町の今後の学校のあり方についての提案や意見

<p>中学の部活数が少ない。どの学校にもあるような（卓球、サッカーなどの）部活がなく、本当にやりたいことができないと思います。</p>
<p>中学生活の中心の一つとなる部活動。部活を選ぶ時、部活の種類が少なく入りたい部活がなく、消去法で決めていた。顧問となる先生の数も限られ、なかなか部活の種類を増やせられないのも問題ではないか。</p>
<p>中学が3校合同し、部活動などもっと充実すべきだと思う。運動部の種類を増やし、文化部は吹奏楽をぜひ取り入れてほしいです。</p>
<p>ほか部活関係 81件</p>
<p>少人数だから大人の目が行き届くというメリットはあるけど、やはり交流面ではもっと多くの人たちと出会う機会を増やしてほしい。 6年間ずっと1学年というのは寂しい。</p>
<p>同級生が少ないことはその後のその人の人生にとってもあまり良くないと思うので、人数の規模に応じた再編の必要があると考えます。</p>
<p>1学年の人数がもっと増えてほしいので、小中学校とも合併した方が良いと思う。例（中学だったら旭が丘・森・泉陽を1つにする） “お達者度”も大事かもしれないが、子供や若い人がもっと増えるような対策にも力を入れてほしい。</p>
<p>学校の施設が古くなっている学校が多く、修理などによる費用がかさむばかりな気がする。今後のことを考えると早めに再編を考え実行してほしい。中学校においては多人数の方が部活の種類も増えてよいのではないかと思う。</p>
<p>森町の財政論からすると統廃合された方が効率的ですが、小学校が地区から無くなるということは若い世代がUターンして定住するかどうか、ましてやIターンでするかどうかを考える上で最も大きなポイントの1つだと思う。よく新聞でも最後の児童が卒業して廃校という記事があるが、それはそれでその子にとっても貴重な体験であり意義はあると思うが、そうなるもう少し前にその保護者ともどういう環境がその子にとって良いか、どう希望するのか、他の形で地区がコミュニティとしての活気を持ち続けることを両立できるやり方について話し合ったりできると良いのではと思う。</p>
<p>家には、小学校、幼稚園、未就園の子がいます。友達が少ないのは本当にかわいそうなことだと思います。三倉へ住みたい！！と思っている人も、学校のこと子供のことを思うと住めないという声を聞きます。このようなアンケートをしていただけてありがたいです。子供のために少しずつでもいいので、学校のあり方に変化ができるといいと思います。</p>
<p>ほか再編関係 31件</p>
<p>あまり怒らない先生が増えてきているが、おかしいなと思ったり、間違っているマナーがなくなっていくと思ったら、どんどん注意して、グループ討議などして子供が理解しやすいように伝えていってほしい。</p>
<p>各中学・小学校の教員の教育力、資質向上を望みます。不登校や少しの友達同士のトラブルなどまだまだ解決されていない。</p>



<p>また、行事がつめつめとなり子供のストレスを生む。ゆとりある学校生活、人間関係づくりを望みます。</p>
<p>先生の負担を軽く出来るように思い切った話し合いの場を持つことはできませんか。 それは親のやることと先生のやることを両者の同意のうえで決める。そして、その内容は学校毎に特色があっても良いと思う。</p>
<p>先生をばかにしている様子あり、子供を厳しく指導してほしい。また出張また出張と予定していた授業や部活の日程が変わることも多く、急な出張は子供のやる気をなくしてしまう。</p>
<p>ほか先生関係 6件</p>
<p>小学校も制服化とし、私服通学の負担を軽減して頂きたいです。 また、学校区も全体の見直し、または選択制を基本とし、事前の人員調整は必要とするものの人気のある学校とそうでない学校の何故を調査し、全体の学力向上を図っていきける町作りに取り組んで頂きたいです。 通学に関してはスクールバスを運行させる等、安全面の確保、社会ルールを学ばせるマナー教育…是非ご検討ください。</p>
<p>設備や備品が古い。お金がないのであれば、廃校にして、他の学校へ通えるようにしてもらいたい。噂で、森町は学力が低いと聞きました。その改善に（力を入れて）もらいたい。</p>
<p>学校の建て替えの時にでも、幼稚園・小学校を一つにすることを考えた建て替えにしては？兄弟がいれば、親が少しは楽になるかも。（通学とか。学童保育とか）</p>
<p>一人一人にタブレットを支給。ICT教育に力を入れる。</p>
<p>ほか施設整備（制服・スクールバス含む）関係 12件</p>
<p>私は地元森町の出身だが、私が子供の頃と親になった現在と、学校のあり方の制度がほとんど変わっていないことに驚きました。今は核家族が多いし、専業主婦がいる家庭も多くないので、それに合わせたようにしていかないと困る家が多いと思います。 特に役員の負担など、学校や地域の役について、休める年がないくらいです。子供が減少している今、役員の負担を軽減して頂けないでしょうか。</p>
<p>おたっしや度も大切かもしれないが、町として学校、教育にもっと力を入れるべき。 町単位だからこそできることを積極的に取り入れてほしい。</p>
<p>子供の頃から住んでいる世帯は、学校の流れ等が分かっている（わかりやすい）とは思いますが、移り住んできた世帯にはなかなか慣れるまで特に時間がかかる（閉鎖的な感じ）と思う。 学力UPも重要だが、小規模集団から社会への大規模集団へ出た時のための心身を鍛える場であれば良いと思う。</p>
<p>子供の減少は学校の問題ではないので、少子化だから今後どうするかより、どうやったら子供が増える町づくりができるかを考えていただきたいと思います。</p>
<p>少子化、過疎化があり仕方がない所もあると思います。少ないことでのメリットもあると思うので、そこを伸ばしてほしいです。協力できることは協力したいと思います。</p>
<p>子供達が安心して楽しい学園生活を送ってくれたらいいと思います。</p>
<p>幼稚園の午前中保育をやめてほしい。小学校に行って午後まで勉強するのが難しく感じた。</p>
<p>幼稚園から何でもかんでも地区、地区とこだわり過ぎているように思う。 地区は大切ではあるけれど、そこに執着すると子供の交流、友達関係がとても狭いものになってしまう</p>

<p>ように感じる。</p>
<p>幼、小、中の学区交流はあるが、生涯教育の一環した実施が必要 例えば教育と福祉等、様々な家庭環境がある中、福祉教育のみでなく、個別ケースにおける連携が必要 だと思ふ。</p>
<p>心の強い子はいじめや仲間外れになっても対応していけますが、弱い子は対応できず不登校など あります。先生方も状況に応じた対応をして頂きたい。 状況を把握していても対応しなかったり、対応が仲間外れやいじめを悪化するような対応の仕方が増 えている。</p>
<p>夏休みなど長期休みのみ児童クラブを利用できると仕事を休まなくてもいいので助かります。</p>
<p>森町に住みたくなるような住み良い教育環境、メリットがあればいいと思う。 特に女の子はグループになりやすいので、環境を変えたり、ケアが必要になる頃には、何でも話せる所 がいいと思う。</p>
<p>子供達がのんびりしていて心配、夏休みの課題も自由に何か子供達が興味を持ったものがあれば行 えるようにしてほしい。 やる気の出ない作文や貯金箱、ポスターは子供達にやらせるのも大変。 本人がやりたいものを必ず1つにしてくれるといいと思う。(もちろん今のような課題の中からもいく つか行って) やる気が出るような学校にしてほしい。</p>
<p>算数で2クラスの子供達を能力別3クラスに分けて指導してもらったところ、学力が上がったので、 少人数制を取り入れてほしい。</p>
<p>現状で満足していますが、将来的に人数が減ることで、子供同士でできることが限られてきそうで不 安です。</p>
<p>他の子、区域からの積極的な受け入れ体制を整えて、森町ならではの地域とのふれあいを大切にした 教育で全国から注目される町となしてほしいです。</p>
<p>休みの日に学校で遊べないのは問題。子供達の遊び場が少なすぎるので、家にいることが増える。も っと外で遊べるように、休みの日でも学校の校庭で遊べるようにしてほしい。</p>
<p>集団登校はトラブルのもとなのでやめて欲しいです。 1年と6年は全く体も違うし、単にお互い負担が多いし、集団登校の安全面も特に意味があると思わな いです。</p>
<p>人数が少ないことで、先生の目が行き届くことは良いが、競争心が生まれなくなりそう。</p>
<p>町内なら好きな学校を簡単に選べると良い。</p>
<p>観音山のキャンプへの参加、国際交流事業、中学では大学でのプログラミング体験など、森町内、外 に関わらず、子供達が様々な体験をできる機会を今後も提供してほしい。 小学校時代、放課後に子供が友達と学校の運動場で遊んだのは良い思い出になっています。近くに大勢 で遊べる場所があるのは良かったです。</p>
<p>地元意識(森町にしか住んだことがない方々)が強く、その考えを常識としてこちらに押し付けるマ マさんは苦手です。 また住民が少ない分、他人に干渉する傾向も強いので、やることなすこと意見を言う人も、正直煩わし</p>

<p>く感じます。</p> <p>森町を出て、日本を出て住んだ私には、考え方や意識がとても狭く、限定的な考え方だと思います。今が変化する絶好の機会かと思います。転換期です。</p>
<p>小規模化とは関係ないが、台風などの警報が出た時の対応の仕方</p> <p>明らかに晴れてきているのに暴風雨警報が出ていたり、大雨警報が出ていて休みになることが多く、近隣の市では登校していることがよくある気がする。</p> <p>時間割を調整して頂いていますが、子供が授業についていけないか不安。親も仕事を休んだり大変。</p>
<p>幼稚園では預かり保育が始まり助かる家庭も増えたかと思いますが、フルタイムで働くことはできず（途中からフルタイムに変更もできない）、保育園に希望を出しても待機児童も多く、難しい現状。幼稚園を子ども園にしたり、私立の幼稚園を補助を出しても誘致したりすることは現実的に難しいことなのか。</p>
<p>小学校の冬休み、夏休み、春休みの学童をOKにしてほしい。</p> <p>おじいちゃんおばあちゃんがいても、子育てに協力できる時ばかりではないので、いるから、どうかなるという考え方が森だけの考えで納得できない。</p>
<p>土曜日半日学校へ行く様にしたらどうでしょう（台風の時には土曜日があればいい）</p>
<p>森町に2年前引っ越してきました。</p> <p>森町には森町ならではの良さがあると信じています。若い人が住みたくなる様な町づくりを期待しています。</p>
<p>少子化に伴い児童生徒の減少は仕方ありませんが、新たに森町に入ってくる人もいないので（森町からの流出はありそうですが）子供人口が減るのは仕方がないのでしょうか。まだ森飯田宮園地区は人がいますが、天方三倉地区の減少が著しいので何とか考えていきたいと思います。</p>
<p>小学校中学校へ通わせていただいておりますが、学校全体がのんびりしたイメージがあります。のんびりは良い面もあると思いますが、15歳で迎える高校受験に森町全体で臨んでいく教育を考えていくのが良いのではと考えます。</p>
<p>幼稚園からそのまま小学校中学校と同じメンバーでそのまま持ち上がると友好関係やいじめのこともそのまま変わらず中学までいってしまう。旭中は中学で2校が一緒になるため、今まで嫌われていた子も客観的に見れて「何だったんだろう」と子供が言っていました。</p>
<p>学校に行けない子供や発達障害の子供が増えています。磐田市にある小学校での取り組みがとても充実している学校があります。そういう学校を見習って下さい。また、そういう子供をかかえている親たちへの支援も必要です。精神的にかなり厳しいです。専門の先生が1人でもいて集まる会などあれば少しは救われます。もっと子供のことを考えた教育支援をして下さい。</p>
<p>子供達からは学校生活が充実している話を聞くので満足しています。不登校の生徒が増えつつあるので、人ごとだと思わず相手を思いやる心を家庭・学校でも教え、また、これから厳しい社会で生きていく強い心も育てていく必要があると思います。</p>
<p>高校に進学した子供より聞いたことですが、磐田の子は、中学校がいくつかあるが、磐田市内での知り合い繋がりが強いと聞きました。</p> <p>高校へ進学の際に友達関係が不安との話を聞いた。</p>
<p>人間関係（生徒と生徒、生徒と教師）による問題が発生していると思うが、転校を容易にすることで</p>

不登校をなくせないかと考える。
森町の良い面は残しつつ、まだまだ子供達、保護者達の考えが甘い部分も見られると思うので、お互いが向上していく環境になっていくと良い。
夏休みは10日間でもよいと思う。
幼稚園の半日で終わる日は不要だと思う。
とても楽しく幼稚園に通っています。人数が少ないことで良いこともあると思う。細かに子供を見守ってくれています。目が行き届き、先生（担任以外も）のことが大好きです。成長していくと、一度人数が少ないため友人関係がこじれてしまうと修復がしにくいと思う。
中学校、小学校の子達は、小さい子供のことをとてもよく見てくれて、優しくしてくれる。これは他の地域ではあまり見られなかったことで、森町で過ごしていて、とても良いと思ったことなので、これからは縦の繋がりができるような教育環境であればいいなと思う。
幼稚園 袋井市はとても充実しているので森町にも色々取り入れてもらいたい。半日にする意味が分からない。 月～金まで2時帰りにしてほしい！弁当の日が多すぎる！イベントの時だけで充分！親の負担が多すぎる！卒業アルバムは先生の仕事だと思う！働いている親が多いので負担が大きい！毎日持ち物が変わるので把握するのが大変。保育園が少なく入れない！子育て支援をもっと充実するべき。（ベビー用品レンタル、ベビーマッサージやママヨガなど講座の充実）
親が幼稚園へ出向くことが多いので、減らしてほしいです。
兄の学年は人数が多すぎ、学力面で行き届かず、算数を能力別3クラスに分けて授業を試した1年間があった。 そこで県の平均以下だった子供達の学力が平均を上回り1年を終えることができた。 効果があるということは少人数制を取り入れても良いのではないかと思った。
森町は子供にとっても子を育てる親にとっても充実した町だと思うので、それを活かし外へ発信し、新しい人や昔いた人たちとかが住んでくれるようになれば、学校も盛り上がると思います。
授業についていけない（理解が遅い）子供に対してのフォローする体制をもっと整えてほしい。 分からなくてもそれを言えない子供はどんどんおいていかれることに不満
交通指導が… 家庭の役割だが、他の子供が「止まれ」で止まらないと一緒にいる子供までいつもは止まるが行ってしまうことがあると聞いた。
質問の主旨とは異なると思いますが… 昨今、母親・女性の社会での活躍とか何とかで、待機児童対策に力を入れていますが、自分の子供を自分で育てたいとがんばっているお母さんもいます。そこにはどのように支援されていますか？
「森町は人数が少ないから」を理由に子供達から可能性を奪うことはやめていただきたい。 陸上記録会よりもお祭りが優先されることを当たり前だと考えるような常識はずれな地域特性は改善していただきたい。
地区の垣根を越えて、学校同士もっと交流があるといいと思う。 ただ、いじめがあって越境通学していた子などもいるようなので、そのあたりの配慮が必要になるかとは思いますが。

<p>森だけでなく、他の学校の人達ともコミュニケーションが上手にとれるようにした方がいい。</p>
<p>保育園への入園の仕方をもっと柔軟にしたら？保育園が少ないのは分かりますが、子育てが安心してできると分かれば自然と子供の数は増えるのでは？是非期待しています。</p>
<p>小学校に通う子がいるのですが、「少しのミスですぐ怒る」先生がいるようで、その先生の授業がある日の前や、あった日は親にすごく嫌だった。とよく言うことがあります。</p>
<p>長期休暇（夏休み等）だけの児童クラブの受け入れをして頂けると、大変助かります。</p>
<p>少子化の地域から、多人数の中学に通う（合併等）としたら、通学方法（バス等）の経費を個人負担ではなく、町として支払う制度を設けて欲しいです。</p>
<p>少子化に歯止めをかける行政などの取り組み</p>
<p>せっかくいい所に住んでいるので地域に密着した活動がもっとあってもいいと思う。</p>
<p>支援クラスの充実 特色のある学校作り（合唱やロープジャンプなど一丸となれるものがあったり） 少人数だからできる個々に合わせた教育・声かけ</p>
<p>問8の回答に学校選択制とあるが、小学校は徒歩での集団登校なので、他地区の学校へ通うのは難しいと思いました。ですが幼稚園については、選択制だといいいのにな…とっていました。</p> <p>園の方針や雰囲気、人数が違う（行事にもバラつきがある）ので、自分達（親と子）に合った園へ申し込みできるといいなと思いました。</p>
<p>これはこのアンケートに記入することではないかもしれませんが、森町から高校（遠江を除く）へ通う際、年間のバス代、電車代にすごく負担がかかります。</p> <p>その負担を軽減すれば住みやすい町になると思います。</p> <p>森町のお祭りに関してももう少し自由に参加できるようにしたり、お舞子さん決めも重いので、今後考えて頂けたら、森町は住み良い町になるのではないかと考えます。</p>
<p>中学校の質が悪いと聞いたことがあります。</p> <p>私立の中学へ行かれるお子さんもいるとか。</p> <p>このまま中学校が悪い方向へ行ってしまうと正直、我が子を通わせることに不安を感じます。かと言って私立に行けるかどうか…</p>
<p>都会と田舎の教育格差を少なくする。田舎の利点は残す。ただし、教育や部活動において、子供達が望む環境を整え、チャンスを与えることが必要。</p> <p>他市町村との学校再編ではなく、同じ森町の内話である。森町立の話である。森町全体でベストの統合を将来いや、今すぐ現在の子供達のために行う必要がある。今後の森町も子供達の教育に掛かっていると思います。</p>
<p>親に地元での権力がないばかりに、子供が蔑んで見られている。大人の心もとない一言で傷ついている子を見るのがつらい。両親とも地元ではないので、肩身が狭い思いをさせているのが申し訳なく思える。</p>
<p>夏休みに勉強できる教室を開放してほしいです。</p>
<p>子育てをしたい町づくりをお願いします。</p>
<p>あいさつができない子供が目につく。陰険な子供が多い。</p> <p>親が見て見ぬふりをして自分の子供をしっかり見ていない家庭が多い。自分さえ良ければいいという</p>

傾向が増えてきていると思う。
強いリーダーが生まれてしまうと、それに従うことでしか学校生活を送ることができない。家庭の状況で、学校でうさを晴らす子供が多い。自分の子供がどういう性格か解っていない親が多い気がする。もっと親に強く言える学校がいい。
夏休みだけでも学童に通っていない子も見てくれる制度ができると、もっと働くお母さん達は働きやすくなると思います。(午前中だけ見てくれるだけでも助かると思う)
しっかり生徒のことを考えて指導してくださるすばらしい先生もいらっしゃるのでもう言った先生が増えてくれることを願います。今、学校に子供の責任をおしつけたりする親は少ないと思うので、もっと自信をもって生徒に色々なことを教えてほしいです。
親のモラル低下が子供達の学校生活によくない。
友達同士の関係(例えばいじめ、上下関係など)が変えにくい。低学年(幼稚園)ならいいが、高学年になるともっと変えにくいので、低学年のうちに子供の数が多いいい気がします。
森幼稚園も人数が減っていて人数でクラスの数が決められると思うが、年少はまだ手がかかることが多いので、20名1クラスは先生も大変だと思う。特定の子に付きっきりになってしまい他の子供にまで手が行き届かないのでは… 決まりで1クラスとなってもその都度様子を見て2クラスにした方が良くないか。
減っている中でも子供達のためにできることはなるべくやってあげたいと思うので、夏祭りや親子遠足など、もっとやってほしい。小学校の体操服を作ってほしい。(保護者の負担が減ると思います。)通学の時なども体操服でいいにしてほしい。
幼稚園、学校とともに、森町だからできる教育を取り入れ、その魅力をアピールして他地域からも子供を増やすべき。移住者を増やす努力。
少人数でレベルが上がってきた。
人間関係が固定化してしまう。
子供同士の些細なケンカ等があっても、大きな学校とは違い、すぐ先生や親が出てきていつも悪くなるとつぶやいていました。逃げ道もなくなるかと思えます。部活(野球)もやりたくてもあまり練習もなく力を入れていないので外部を選びました。少人数の良さもありますが、中学になるとデメリットの方が感じます。
合併反対→子供 「母校がなくなるのが悲しい」と言っていました。
人員が減少することで、何が問題なのか?人数の多い少ないに限らず、学校教育は変わらないと思います。ただ、集団生活(人間関係)等が支障が出るかも。しかし、自分から色々な活動に外へ出て行くことも必要ではないでしょうか。
三倉、天方と親の考え方が違う。温度差がある。森の町の中でも町に慣れない子は奥に来て学んだ方が良い。
少人数で、友達を選べないと言われていたりしていますが、私は、子供の適応力に期待したいと思います。適応できなくて一人になったとしても、一人で生きていける力をつけて欲しいと思うし、全く全ての人と接することがないわけではないと思う。同年代だけとかではなく、世代が違うお友達などができていいと思います。
地域の人達が残したいという気持ちが強いのという感じがあるが、子供のことを一番に考えてほしい。

第3者の意見で、こうあるのがベストだということを伝えてほしい。

地方と都市、都市ということが教育の豊かさの条件ではない。今ある環境を積極的に生かすこと、広い視野、新しい発想で教育というものを考えるのも必要ではないか。例えば、自然豊かな森町の教育の中に、今後も地球規模で考える課題となっていく環境問題に実際の自然環境を通して取り組めれば、将来の大きな力、また地元にもたらす効果もあるのではないか。

小学校5年生の時転校してきたが、すぐにクラスにもとけこめたし、中学へ行っても少人数のクラスではあったが、友達とも仲良く過ごせたと思います。ただ、少人数なので、少しのことでも目立った行動をする子が誰なのかすぐ分かってしまうため、本人にも色々な面で良かったこと、悪かったことがあったと思います。高校へ行ってもすぐにクラスになじめたようで少人数だから…とかあまり考えすぎなくても良いと思いました。

学校選択制を導入。現実、人数が減っていることは確かであるが、地域の学校ならではの良さも沢山あり、縦割り学習で、高学年から色々学ぶこともあるし、低学年が活躍できたりとメリット面も多い。だが、学級人数が少なすぎて、友人の固定、刺激が少なく寂しい思いをしていることが沢山ある。また、学級人数を増やしたいのもあるし、森町全体がまとめられてしまうと奥地の家から通学方法などが気になる。家庭に響いてくると困る。

少人数の良さもありますが、子供のコミュニティが小さく、一人ボスが決まってしまうと他の子はその子に従うという関係ができやすく、他の世界を知らずに困っている子もいる。

自然が豊かな森町ですので都会ではできない田植えなど、このまま続けてほしいです。森町ならではの教育は素敵だと思います。

基本的には現在のままでいいと思う。人数が少なくて集団生活ができない場合は、スポーツ少年団などに入ればいいと思う。合併を望む人の考えとして、子供の人数が少ないと役員が回ってきて嫌という親もいてレベルが低いと思う。

学校のあり方検討会 委員名簿

選出区分	所属	氏名
学識経験者	静岡大学大学院教授	武井 敦史
町民	飯田地区代表	吉筋克次
	園田地区代表	村松昌吾
	一宮地区代表	夏目隆夫
	森地区代表	長田辰美
	天方地区代表	浅井 強
	三倉地区代表	服部源吾
PTA	飯田小学校保護者代表	吉川清子
	宮園小学校保護者代表	田代美幸
	森小学校保護者代表	長島美紀
	天方小学校保護者代表	夏目亜紗美
	三倉小学校保護者代表	甚沢あゆみ
	旭が丘中学校保護者代表	鈴木いづみ
	森中学校保護者代表	松島さやか
	泉陽中学校保護者代表	奥宮紀子
	幼稚園保護者代表	本多伊津美
学校関係者	幼稚園長代表	加藤友廣
	小学校長代表	上沢和充
	中学校長代表	鶴見恒幸
民間	まちづくり会議	久保下和義
	まちづくり会議	山田勝恵
	企業(豊田合成株)	榊原香織

事務局	教育長	比奈地敏彦
	学校教育課長	西谷ひろみ
	学校教育課課長補佐	古川敏勝
	学校教育課庶務係長	岩井秀司
	学校教育課学校教育係長	土屋智也乃
	学校教育課学校教育係	長野あかね
	学校教育課学校管理係	片岡久幸